



6月19日(金) A会場(パシフィコ横浜ノース 1F G7+G8)

8:45~10:30 受賞報告会

◎の受賞者は受賞講演があります。

精神医学奨励賞

司会：東京大学大学院医学系研究科精神医学
獨協医科大学精神神経医学講座

笠井 清登
古郡 規雄

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室/
量子科学技術研究開発機構脳機能イメージング研究センター/
国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部神経病理分野
福井大学子どものこころの発達研究センター

◎黒瀬 心
◎濱谷 沙世

国際学会発表賞

司会：東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

個人発表部門

東京科学大学精神行動医科学分野
筑波大学大学院人間総合科学学術院
桶狭間病院藤田こころケアセンター
横須賀共済病院精神科
名古屋大学医学部附属病院

山口 湧声
中山 顕次郎
谷口 莉菜
鄭 素怡
岩田 邦幸

シンポジウム組織発表部門

睡眠総合ケアクリニック代々木/東京医科大学睡眠学寄附講座
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部

角 幸頼
山口 博行

国際学会派遣賞

司会：東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

American Psychiatric Association 大会派遣

昭和医科大学附属烏山病院

山田 真理

Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists 大会派遣

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部

成田 瑞

フォリア賞

司会：順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学/医学部精神医学講座
東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

加藤 忠史
高橋 英彦

Department of Psychiatry, University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center

◎Hyo-Won Kim

PCN Reviewer Awards

司会：東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

岐阜大学大学院医学系研究科精神医学
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部

大井 一高
成田 瑞

筑波大学医学医療系医療情報マネジメント学・精神医学	根本 清貴
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室	高橋 隼
順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学 あおきクリニック	八田 耕太郎
東京科学大学精神行動医科学分野	青木 悠太
東京大学医学部附属病院精神神経科	高木 俊輔
福井大学子どものこころの発達研究センター	越山 太輔
国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター	松崎 秀夫
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室	伊藤 正哉
奈良県立医科大学附属病院	加藤 隆弘
名古屋大学総合保健体育科学センター	法山 勇樹
順天堂大学医学部精神医学講座	小川 しおり
Stanford University Department of Psychiatry and Behavioral Science	西岡 将基
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座	和田 真孝
	伊賀 淳一

PCN Reports 最優秀論文賞

司会：獨協医科大学精神神経医学講座

量子科学技術研究開発機構量子生命科学研究所量子生命情報グループ	古郡 規雄
量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究センター システム神経回路研究グループ	◎八幡 憲明
量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究センター システム神経回路研究グループ	平林 敏行
	南本 敬史

PCN Reports Best Reviewer Awards

司会：自治医科大学精神医学講座

愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座	須田 史朗
	河邊 憲太郎

PCN Reports Reviewer Awards

司会：自治医科大学精神医学講座

奈良県立医科大学健康管理センター	須田 史朗
名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座／ 名古屋市立大学病院こころの発達診療研究センター	山室 和彦
名古屋市立大学こころの発達医学寄附講座	坂田 昌嗣
国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター児童精神科	野木村 茜
福岡大学医学部精神医学教室	宇佐美 政英
特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院	堀 輝
順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学	館農 勝
札幌花園病院	八田 耕太郎
東邦大学医学部精神神経医学講座	井上 猛
藤田医科大学医学部精神神経科学講座	齋藤 淳一
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室	岸 太郎
	高橋 隼



10:40~11:20 **教育講演 10**

日→英 AI 翻訳あり

司会：笠井 清登 東京大学

EL10 **精神展開剤を用いた精神疾患治療の現在地：歴史、現在、社会実装の展望**

○内田 裕之

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室



11:20~12:00 **教育講演 11**

日→英 AI 翻訳あり

司会：中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

EL11 **統合失調症の薬物療法～評価と治療の最適化～**

○竹内 啓善

千葉大学大学院医学研究院精神医学



12:00~12:40 **教育講演 12**

日→英 AI 翻訳あり

司会：橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

EL12 **児童精神科医療とAI・ロボットの共生 — 臨床への応用と課題**

○熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室



13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 8**

抗Aβ抗体薬による早期治療・継続治療の意義を考える

司会：喜田 恒 社会医療法人あさかホスピタル

SPL8-1 **早期認知症への対応における精神科医の役割**

○三村 將

慶應義塾大学予防医療センター

SPL8-2 **抗Aβ抗体薬の安全性～継続治療・アジア人解析の観点から～**

○新堂 晃大

三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

14:05~15:05 招待講演 2

日→英 AI 翻訳あり

司会：中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

IL2

死から生へ ～法医学研究を振り返って～

○福永 龍繁

東京都監察医務院 / 科学警察研究所



15:05~16:05 特別講演 8

英→日 AI 翻訳あり

司会：三浦 至 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

SL8

Advice to Young Investigators and Clinicians

○John M. Kane

Feinstein Institutes for Medical Research, USA / Donald and Barbara Zucker School of Medicine at Hofstra/Northwell, USA



16:20~17:20 特別講演 9

英→日 AI 翻訳あり

司会：根本 隆洋 東邦大学医学部医学科精神神経医学講座

SL9

The Next Stage for Early Intervention:
Transdiagnostic, Personalized, Universal

○Patrick McGorry

The University of Melbourne, Australia



17:20~18:20 特別講演 10

英→日 AI 翻訳あり

司会：池田 学 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

SL10

Improving the Long-term Outcome of Psychosis: The Role of State-based
Autobiographical Memory (SAMP)

○Eric Y.H. Chen

Center for Youth Mental Health, University of Melbourne, Australia





6月19日(金) B会場(パシフィコ横浜ノース 1F G5)

8:30~10:30

シンポジウム 43

日→英 AI 翻訳あり

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を支える精神科医療機関の役割

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

SY43-1

地方都市における精神科病院の役割と「にも包括」の社会実装

○林 輝男

社会医療法人清和会西川病院

SY43-2

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」における総合病院精神科の役割

○佐竹 直子

国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター

SY43-3

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの実装：多機能型精神科診療所における多職種・多機関連携の実践

○安間 尚徳

上尾の森診療所

SY43-4

精神保健福祉センターにおける「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築

○野口 正行、山内 泰彦、岡崎 翼

岡山県精神保健福祉センター

【指定発言者】

岡本 秀行

厚生労働省

〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

〈サブコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

10:40~11:40

先達に聴く 2

日→英 AI 翻訳あり

司会：小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座

PM2

睡眠医療の現状と今後の展望 ～「睡眠障害」の標榜実現に向けて～

○内村 直尚

久留米大学医学部神経精神医学教室



11:40~12:40 **先達に聴く 3**

日→英 AI 翻訳あり

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

PM3 **精神科病院のこれまでとこれから**

○山崎 學
日本精神科病院協会



14:05~16:05 **シンポジウム 44 (産業保健に関する委員会)**

産業医学研修会対象セッション

中小企業のメンタルヘルス対策を考える～法改正を含めて～

日→英 AI 翻訳あり

司会：中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座
井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

SY44-1 **職場におけるメンタルヘルス対策**

○諸富 伸夫
厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課

SY44-2 **精神科産業医の立場からみた中小企業のメンタルヘルス対策**

○松本 泰幸
杏林大学医学部精神神経科学教室

SY44-3 **精神障害の労災認定の補償状況～特に中小企業の請求事案の特徴**

○黒木 宣夫
医療法人社団宣而会勝田台メディカルクリニック

SY44-4 **従業員50人未満事業所におけるストレスチェック制度義務化の課題**

○渡辺 洋一郎
横山・渡辺クリニック

〈メインコーディネーター〉 井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

16:20~17:20 **先達に聴く 4**

日→英 AI 翻訳あり

司会：片桐 直之 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

PM4 **総合病院精神医学・産業精神保健・地域医療**

○黒木 宣夫
医療法人社団宣而会勝田台メディカルクリニック





17:20~18:20 特別講演 11

英→日 AI 翻訳あり

司会：内野 敬 東邦大学医学部社会実装精神医学講座

SL11

Cognitive Impairment and Rehabilitation in Schizophrenia Today

○Joseph Ventura

Department of Psychiatry, Semel Institute for Neuroscience and Human Behavior, UCLA, USA



6月19日(金) C会場(パシフィコ横浜ノース 1F G6)

8:30~10:30

シンポジウム 45

産業医学研修会対象セッション

精神疾患の復職支援を確実なものにする医療リワーク

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
五十嵐 良雄 メディカルケア虎ノ門

SY45-1

“リワーク”に関するエビデンスと復職に関するガイドラインについて

○堀 輝

福岡大学医学部精神医学教室

SY45-2

医療リワークの質の確保 スタッフ認定制度について

○有馬 秀晃

品川駅前メンタルクリニック

SY45-3

医療リワークのエビデンス

○鷺塚 伸介

信州大学医学部精神医学教室

【指定発言者】

五十嵐 良雄

メディカルケア虎ノ門

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

〈サブコーディネーター〉 五十嵐 良雄 メディカルケア虎ノ門

6月19日(金) D会場(パシフィコ横浜ノース 2F G215)

9:00~16:00 **精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ 5**
森田療法体験ワークショップ

司会：樋之口 潤一郎 潤クリニック
岩木 久満子 顕メンタルクリニック
館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座

PW5	〈講演者〉	水野 雅文	社会医療法人あさかホスピタル
		新村 秀人	大正大学臨床心理学部臨床心理学科
		太田 大介	おおた心療内科クリニック
		樋之口 潤一郎	潤クリニック
		松浦 隆信	日本大学文理学部
		田所 重紀	札幌医科大学医学部精神医学講座
	〈ファシリテーター〉	矢野 勝治	東京慈恵会医科大学西部医療センター精神神経科
		谷井 一夫	東京慈恵会医科大学西部医療センター精神神経科
		久保田 幹子	法政大学現代福祉学部臨床心理学科
		金子 咲	東京慈恵会医科大学西部医療センター精神神経科
		渡辺 志帆	東京慈恵会医科大学西部医療センター精神神経科
		内富 庸介	東京慈恵会医科大学・がんサバイバーシップ・デジタル講座
		板村 論子	ピュシス統合医療クリニック
		黒瀬 有里乃	東京慈恵会医科大学精神医学講座
	〈メインコーディネーター〉	館野 歩	東京慈恵会医科大学精神医学講座
	〈サブコーディネーター〉	樋之口 潤一郎	潤クリニック
		岩木 久満子	顕メンタルクリニック

6月19日(金) E会場(パシフィコ横浜ノース 3F G304)

8:30~10:30 **シンポジウム 46**
精神疾患患者の増加と医療の受け皿について考える

司会：張 賢徳 国立精神神経医療研究センター精神保健研究所

SY46-1 **精神疾患患者数増大の実態をどう捉えるかー 地域疫学研究と医療データからの分析ー**
○西 大輔
東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

SY46-2 **精神疾患患者増加時代におけるプライマリケアの役割**
○孫 大輔
鳥取大学医学部地域医療学講座

SY46-3 **精神疾患患者数増大時代における小児医療の役割**
○水野 賀史^{1,2,3}
¹福井大学子どものこころの発達研究センター、²大阪大学大学院連合小児発達学研究所、
³福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部



SY46-4 精神医療と一般医療の連携強化を目的とした診療報酬の現状

○黒田 直明

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部

SY46-5 精神科医療における交通整理

○宋 龍平

岡山県精神科医療センター

〈メインコーディネーター〉 張 賢徳

国立精神神経医療研究センター精神保健研究所

〈サブコーディネーター〉 黒田 直明

国立精神神経医療研究センター精神保健研究所

10:40~12:40 **シンポジウム 47**

医療DX時代における認知行動療法の新展開と臨床実装への挑戦

司会：中川 敦夫

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

久我 弘典

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY47-1 プログラム医療機器 (SaMD) としての認知行動療法と臨床実装の課題と展望

○久我 弘典

国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター

SY47-2 遠隔コンサルテーション・カンファレンス (DtoDtp) と認知行動療法

○中川 敦夫

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

SY47-3 うつ病診療ガイドラインと認知行動療法

○菊地 俊暁

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY47-4 厚労省認知行動療法研修と認知行動療法の治療アクセス促進の展望

○三田村 康衣^{1,2}、浜村 俊傑¹、久我 弘典¹

¹国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、²東京慈恵会医科大学大学院

〈メインコーディネーター〉 中川 敦夫

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 9**

司会：勝元 榮一

かつもとメンタルクリニック

SPL9 意外と知らない 飲酒と隣疾患の関係

○正宗 淳

東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

14:05~16:05 **シンポジウム 48**
地域・社会と精神医療の共生を目指して

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
新村 秀人 大正大学臨床心理学部

SY48-1 **本邦初の脱施設化プロジェクト「ささがわプロジェクト」の24年と、その経験に基づく精神科地域医療の展開**

○喜田 恒^{1,2}

¹社会医療法人あさかホスピタル、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY48-2 **愛媛県愛南町における地域づくりと精神科医療の構造変革**

○長野 敏宏

公益財団法人正光会御荘診療所

SY48-3 **地域共生社会の実現に向けた就労支援IPSの意義と展望**

○林 輝男

社会医療法人清和会西川病院

〔指定発言者〕

佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

〈サブコーディネーター〉 喜田 恒 社会医療法人あさかホスピタル

16:20~18:20 **シンポジウム 49**
地域精神医療における危機介入—多機能型精神科診療所の試み

司会：長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック
窪田 彰 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック

SY49-1 **危機介入における多職種アウトリーチ**

○三家 英明

医療法人三家クリニック

SY49-2 **地域精神医療における危機介入—多機能型精神科診療所の試み**

○上ノ山 一寛

南彦根クリニック

SY49-3 **多機能型精神科診療所の機能を利用した入院回避への試み**

○田原 和代、長谷川 直実、山本 泰雄

医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

SY49-4 **精神科クリニックにおける薬物による危機介入の実際—経口薬を中心とした現実的アプローチ—**

○上田 均

もりおか心のクリニック

〔指定発言者〕

福田 祐典

医療法人翠会ヘルスケアグループ本部

〈メインコーディネーター〉 長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

〈サブコーディネーター〉 窪田 彰 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック



6月19日(金) F会場(パシフィコ横浜ノース 3F G303)

8:30~10:30 シンポジウム 50 集団精神療法が目指すもの:臨床現場からの報告

司会: 加藤 隆弘 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY50-1 病院内で自死が生じた際のグループの立ち上げとケアについて

○衛藤 暢明
福岡大学医学部精神医学教室

SY50-2 認知症デイケアにおける集団精神療法 — 「通じ合う」体験はいかに生じるか —

○勢島 奏子
医療法人すずらん会たろうクリニック

SY50-3 依存症・嗜癖の集団精神療法の回復過程

○田辺 等
北仁会旭山病院

SY50-4 大学教育における集団精神療法の実践に関する一考察

○林 公輔^{1,2}
¹慶應義塾大学環境情報学部、²信濃追分クリニック

〔指定発言者〕

岡島 美朗
自治医科大学附属さいたま医療センターメンタルヘルス科

〈メインコーディネーター〉 林 公輔 慶應義塾大学環境情報学部
〈サブコーディネーター〉 衛藤 暢明 福岡大学

10:40~12:40 シンポジウム 51 マニュアルの向こう側にある精神療法—精神療法の技術をいかに伝えるか?—

司会: 富澤 治 とみさわクリニック
市来 真彦 東京医科大学学生・職員健康サポートセンター

SY51-1 医学生や研修医に我々は精神療法をいかに伝えていくべきか

○榊屋 二郎
東京医科大学精神医学分野

SY51-2 精神療法におけるノンバーバル・アプローチの可能性——臨床と治療者育成の場から——

○宮田 裕子¹、鈴木 綾香²
¹医療法人三家クリニック、²東邦大学医療センター大森病院

SY51-3 精神分析の訓練について—特にスーパーヴィジョンと訓練分析を巡って—

○池田 暁史^{1,2}
¹大正大学、²個人開業

SY51-4 治療者の「感性」をいかに磨くか ~ 「音声精神療法 (Vocal psychotherapy)」の立場から~

○齋藤 考由
医療法人社団五雲堂齋藤醫院

【指定発言者】

中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

〈メインコーディネーター〉 池田 暁史 大正大学／個人開業
〈サブコーディネーター〉 富澤 治 とみさわクリニック

14:05～16:05 シンポジウム 52
精神科医に求められる睡眠医学の知識と技能 —「睡眠障害」の標榜を見据えて—

司会：鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系
小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学教室

SY52-1 睡眠の評価と専門医療機関との連携

○松井 健太郎
国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

SY52-2 精神科医が担うべき睡眠障害の知と技①

○竹島 正浩
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

SY52-3 精神科医が担うべき睡眠障害の知と技②

○金子 宜之、大槻 怜、木附 隼、鈴木 正泰
日本大学医学部精神医学系精神医学分野

SY52-4 デジタル・スリープメディスン時代に求められる知識

○内海 智博、吉池 卓也、栗山 健一
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

SY52-5 睡眠医療に関する認定制度と教育の課題

○比江嶋 啓至
久留米大学医学部神経精神医学講座

【指定発言者】

内村 直尚
久留米大学

〈メインコーディネーター〉 鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系
〈サブコーディネーター〉 小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学教室

16:20～18:20 シンポジウム 53 (精神神経学雑誌編集委員会)
精神神経学雑誌投稿奨励賞の現状と課題

司会：古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
國井 泰人 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

SY53-1 精神神経学雑誌投稿奨励賞創設の経緯

○小原 圭司^{1,2}
¹社会医療法人正光会松ヶ丘病院、²大阪商業大学

SY53-2 精神神経学雑誌投稿奨励賞を受賞してから投稿までの障壁

○長岡 敦子
東北大学病院精神科



SY53-3 和文論文を書く意味ービジョンと戦略の視点から

○笠原 諭
東京大学医学部付属病院麻酔科・痛みセンター

SY53-4 精神神経学雑誌に掲載されるまでー若手医師が直面したハードルと完遂を支えた指導医との並走ー

○児島 侑紀、清水 敏幸、加藤 正樹、嶽北 佳輝
関西医科大学医学部精神神経科学講座

SY53-5 精神神経学雑誌でスムーズに受理されるには

○高橋 秀俊
高知大学医学部児童青年期精神医学(寄附講座)

〔指定発言者〕

嶽北 佳輝
関西医科大学医学部精神神経科学講座

〔指定発言者〕

中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈メインコーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
〈サブコーディネーター〉 國井 泰人 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野
中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

6月19日(金) G会場(パシフィコ横浜ノース 3F G301+G302)

8:30~10:30 シンポジウム 54
統合失調症診断の核心に迫る

司会：尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座
高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

SY54-1 統合失調症と鑑別を要する疾患~3年間の振り返りと展望~

○酒本 真次
岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

SY54-2 神経発達の視点から再考する統合失調症

○廣田 智也
岡山大学学術研究院医歯薬学域子供の発達とメンタルヘルス講座

SY54-3 死後脳分子病態から考える「統合失調症らしさ」

○國井 泰人
東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

SY54-4 統合失調症の診断及び治療に関するヤスパースの見解

○松丸 啓子
高千穂大学

〈メインコーディネーター〉 尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

10:40~12:40 シンポジウム 55 (PCN 編集委員会)
統合失調症の脳病態研究の最前線

司会：加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学教室
高橋 英彦 東京科学大学精神行動医科学分野

SY55-1 AIと脳イメージングを統合失調症研究と診療に活かす

○高橋 英彦
東京科学大学

SY55-2 淡蒼球体積増大は何を意味するのか？構造MRI所見の神経科学的解釈

○阿部 欣史
慶応義塾大学医学部

SY55-3 大規模ゲノム・脳画像臨床研究のリバーズ翻訳による統合失調症病態の動物モデル研究

○柳下 祥
東京大学

SY55-4 統合失調症の高リスク遺伝子病態と自己抗体病態

○塩飽 裕紀
東京科学大学精神行動医科学分野

〈メインコーディネーター〉 加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学教室
〈サブコーディネーター〉 塩飽 裕紀 東京科学大学精神行動医科学分野

13:00~13:50 スポンサーレクチャー 10

司会：内田 裕之 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SPL10 難治性うつ病 (Difficult to Treat Depression : DTD) にあきらめずに取り組む

○渡邊 衡一郎
杏林大学医学部精神神経科学教室

共催：大塚製薬株式会社 医薬営業本部 プロダクトマネジメントグループ CNS精神領域

14:05~16:05 会長企画シンポジウム 4
精神療法のエビデンス再考～精神分析、認知行動療法、森田療法、内観療法の立場から～

司会：館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座
菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

PS4-1 未来の精神分析-エビデンス・コンプレックスを超えて-

○加藤 隆弘
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

PS4-2 精神療法のエビデンス再考～認知行動療法の立場から～

○菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

PS4-3 外来森田療法の治療効果について—ランダム化比較試験による検証に向けた研究の経緯と現状—

○久保田 幹子^{1,2}
¹法政大学大学院人間社会研究科、²東京慈恵会医科大学森田療法センター



PS4-4

精神療法のエビデンス再考～内観療法の立場から～

○堀井 茂男

公益財団法人慈圭会慈圭病院

〔指定発言者〕

青木 省三

公益財団法人慈圭会精神医学研究所

〈メインコーディネーター〉 館野 歩

東京慈恵会医科大学精神医学講座

16:20～18:20

シンポジウム 56

社会の中の“つながり”がもたらす精神医学・精神医療～オープン・ダイアログにおける効果の体験的考察～

司会：斎藤 環

医療法人社団八月会つくばダイアログハウス

村上 純一

あわいの医院

SY56-1

社会の中の“つながり”を捉えなおす -サルトジェネシスの視座から-

○大井 雄一

澁谷川診療所

SY56-2

向精神薬減薬期の症状に対するオープン・ダイアログの可能性について

○岩渕 貴子

ライクマインズ

SY56-3

横浜寿町での実践：オープンダイアログの3つの側面に照らして

○岩渕 一之

ライクマインズ

SY56-4

ダイアログによるつながりの編み直しプロセスについての考察

○大谷 保和

筑波大学医学医療系

〔指定発言者〕

石橋 佐枝子

札幌市立大学看護学部

〔指定発言者〕

石川 真紀

千葉県精神保健福祉センター

〔指定発言者〕

植村 太郎

神戸労災病院

〔指定発言者〕

山中 一紗

あわいの医院

〈メインコーディネーター〉 笹原 信一郎

筑波大学医学医療系産業精神医学・宇宙医学、附属病院メンタルヘルス科

〈サブコーディネーター〉 森田 展彰

筑波大学医学医療系社会精神保健学、附属病院メンタルヘルス科

西村 秋生

だるまさんクリニック

6月19日(金) H会場(パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

8:40~10:20 ワークショップ6 (司法精神医学研修委員会) そこが知りたい! 刑事精神鑑定3

司会：高信 径介 北海道大学病院附属司法精神医療センター
永田 貴子 横浜市こころの健康相談センター

WS6 <講演者> 安東 一樹 東日本成人矯正医療センター
杉本 裕子 岡崎医療刑務所
來住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター
賀古 勇輝 北海道大学病院附属司法精神医療センター
安藤 久美子 東京科学大学

<メインコーディネーター> 高信 径介 北海道大学病院附属司法精神医療センター
<サブコーディネーター> 中岡 健太郎 愛知県精神医療センター

10:50~12:30 ワークショップ7 (精神科医療機器委員会) うつ病へのrTMS療法:実践課題の共有と解決にむけたディスカッション

司会：高橋 隼 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
松田 勇紀 藤田医科大学医学部臨床研究・開発教育学

WS7 <講演者> 松田 勇紀 藤田医科大学医学部臨床研究・開発教育学
稲川 優多 自治医科大学精神医学講座
木村 大 医療法人学而会木村病院
林 大祐 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

<メインコーディネーター> 高橋 隼 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
<サブコーディネーター> 松田 勇紀 藤田医科大学医学部臨床研究・開発教育学

14:15~15:55 ワークショップ8 (薬事委員会) 向精神薬の副作用のリスクシェアリング(その2):抗うつ薬, 気分安定薬

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

WS8 <講演者> 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部/青山学院大学保健管理センター
稲田 健 北里大学医学部精神科学教室
堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室

<メインコーディネーター> 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部/青山学院大学保健管理センター
<サブコーディネーター> 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部



16:30~18:10 **ワークショップ9** (卒前医学教育・卒後臨床研修委員会)
医学生・研修医の学習モチベーションに火をつける教育的関わりの模索

司会：尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座
須田 史朗 自治医科大学精神医学講座

WS9 <講演者> 宮野 史也 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
水井 亮 公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座
中瀧 理仁 徳島大学病院精神科神経科
猪狩 圭介 株式会社麻生飯塚病院
豊見山 泰史 九州大学病院精神科神経科
多田 真理子 順天堂大学精神医学講座

<メインコーディネーター> 松坂 雄亮 長崎県精神医療センター
<サブコーディネーター> 藤田 博一 高知大学医学部附属医学教育創造センター
植野 司 京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター

6月19日(金) I会場(パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

8:30~10:30 **シンポジウム57**
児童精神科入院治療および地域連携の試行的探求

司会：小平 雅基 総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科
岡田 俊 公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座

SY57-1 **メンタライゼーションに基づく適応的統合的治療 (AMBIT) を取り入れた児童思春期病棟の運営と地域との連携**

○渡部 京太
群馬病院

SY57-2 **児童精神科医療とトラウマインフォームドケア**

○岩垂 喜貴
駒木野病院

SY57-3 **埼玉県における子どもの精神科入院医療と地域連携システム構築の試み**

○牧野 和紀
埼玉県立精神医療センター

SY57-4 **クリニックにおける児童相談所との連携モデル**

○小平 雅基、細金 奈奈
総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

【指定発言者】

大重 耕三
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

<メインコーディネーター> 小平 雅基 総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科
<サブコーディネーター> 岡田 俊 公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座

10:40～12:40 **シンポジウム 58** (児童精神科医療研修委員会)
子どもと依存

司会：岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座
佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部

SY58-1 思春期における依存症治療の位置づけ～思春期ゲーム行動症外来での経験から～

○青山 久美
神奈川県立精神医療センター

SY58-2 市販薬依存と児童思春期病棟における治療上の問題

○水本 有紀、東野 有依、宇佐美 政英
国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター

SY58-3 依存という視点で見る子どもの自傷行為

○成重 竜一郎
日本医科大学付属病院

SY58-4 摂食症と窃盗

○磯部 昌憲
京都大学医学部附属病院精神科神経科

SY58-5 性依存・性非行のメカニズムと実践的介入モデル

○安藤 久美子
東京科学大学

〈メインコーディネーター〉 佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部
〈サブコーディネーター〉 岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座

14:05～16:05 **シンポジウム 59**
子ども・若者を支える社会システムの構築に向けて：産学官連携の可能性と実践

司会：根本 隆洋 東邦大学医学部社会実装精神医学講座／東邦大学医学部医学科精神神経医学講座
石井 美緒 横浜市立大学附属病院精神科

SY59-1 精神保健から精神医療への適切な橋渡しの仕組みづくり

○内野 敬
東邦大学医学部社会実装精神医学講座

SY59-2 産学官連携によるメンタルヘルス早期相談・支援の地域展開の意義と実践

○磯野 浩嗣
日本生命保険相互会社

SY59-3 若者メンタルヘルス支援の産学官連携による社会実装

○石井 美緒¹、藤田 純一²、松井 公宏²、高山 みづほ²、出村 宣子³、雨宮 愛理³、西田 明日香³、
宮崎 智之³
¹横浜市立大学医学部精神医学教室、²横浜市立大学附属病院児童精神科、³横浜市立大学研究・産学連携推進センター

SY59-4 子ども・若者を支える社会システムの構築に向けて：ヤングケアラー支援における産学官連携の可能性と実践

○門田 行史
自治医科大学小児科学



〔指定発言者〕

篠田 歩

神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

〈メインコーディネーター〉 内野 敬

東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 石井 美緒

横浜市立大学附属病院精神科

16:20~18:20 シンポジウム 60

精神科医療は子どもの居場所づくりに何ができるのか？

司会：笠原 麻里 医療法人財団青溪会駒木野病院

SY60-1 地域共生を目指すグループ法人での支援から考える、子どもの居場所づくり

○佐久間 陸貴

社会医療法人あさかホスピタル児童思春期診療部

SY60-2 精神科病院における外来、児童思春期デイケア、児童思春期病棟 子どもたちに提供しうる居場所としての役割

○佐藤 仁

こころの医療センター五色台

SY60-3 子どもたちの多様な居場所 SNS・デジタル空間における子ども居場所

○吉川 徹

愛知県西三河福祉相談センター

SY60-4 子どもたちを支える地域包括的な居場所づくり ―地域における多機能型精神科診療所の実践―

○大嶋 正浩

医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ

〈メインコーディネーター〉 佐久間 陸貴 社会医療法人あさかホスピタル

〈サブコーディネーター〉 喜田 恒 社会医療法人あさかホスピタル

6月19日(金) J会場(パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

8:30~10:30 シンポジウム 61 (ICD-11 委員会)

ICD-11で精神医療・医学はどう変わるのかーICD-10から11への切り替えを前にして

司会：神庭 重信 栗山会飯田病院精神科

丸田 敏雅 聖徳大学

SY61-1 ICD-10からICD-11への変更に際して

○井上 竣介

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

SY61-2 ICD-11が精神科臨床および診断学に与える影響

○針間 博彦

東京都立松沢病院

SY61-3 ICD-10からICD-11への移行が精神医学教育に与える影響

○中尾 智博

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

SY61-4 脳科学は精神科診断学を書き換えることができるのか？

○平野 羊嗣^{1,2}

¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、²東京大学生産技術研究所

〔指定発言者〕

丸田 敏雅

聖徳大学

〔指定発言者〕

松本 ちひろ

日本医療研究開発機構

〈メインコーディネーター〉 神庭 重信 栗山会飯田病院精神科

〈サブコーディネーター〉 丸田 敏雅 聖徳大学

10:40~12:40 シンポジウム 62 (広報委員会)

精神神経学会ソーシャルメディア利用促進に関する諸問題

司会：金沢 徹文 大阪医科薬科大学病院
村井 俊哉 京都大学医学部附属病院

SY62-1 精神神経学会ソーシャルメディア利用促進に向けて

○金沢 徹文

大阪医科薬科大学精神神経科

SY62-2 効果的な情報発信とは？

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

SY62-3 精神科医 YouTuber がみつめる社会ソーシャルメディアの功罪

○松崎 朝樹

筑波大学医学医療系精神医学

SY62-4 炎上対策と視聴者数の伸ばし方

○益田 裕介

早稲田メンタルクリニック

〔指定発言者〕

本田 秀夫

信州大学医学部附属病院精神科

〈メインコーディネーター〉 金沢 徹文 大阪医科薬科大学病院

〈サブコーディネーター〉 益田 裕介 早稲田メンタルクリニック

菊知 充 金沢大学附属病院神経科精神科



13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 11**

司会：渡辺 雅子 医療法人社団千紫会新宿神経クリニック

SPL11 **てんかん診療における病院前治療の重要性と最前線**

○日暮 憲道

武蔵小杉小児科・てんかんクリニック

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

14:05~16:05 **シンポジウム 63 (災害支援委員会)**

大災害後のこころのケアセンターの歩みから学ぶ — 復興期のメンタルヘルス支援を考える —

司会：深澤 隆 医療法人財団青仁会・青南病院
富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

SY63-1 **東日本大震災後の岩手県沿岸被災地のこころのケアについて**

○大塚 耕太郎^{1,2,3}

¹岩手医科大学医学部神経精神科学講座、²岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、³岩手県こころのケアセンター

SY63-2 **災害復興期におけるメンタルヘルス支援：福島災害からの教訓**

○前田 正治^{1,2}

¹福島県精神保健福祉センター、²(一社)福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター

SY63-3 **熊本地震と熊本豪雨における復興期のメンタルヘルス支援**

○矢田部 裕介^{1,2}

¹玉名病院、²熊本こころのケアセンター

SY63-4 **能登半島地震におけるメンタルヘルス支援 ～DPAT活動から石川こころのケアセンターへ～**

○五明 佐也香^{1,2}

¹獨協医科大学埼玉医療センター、²厚生労働省委託事業DPAT事務局

SY63-5 **能登半島地震被災者におけるこころのケアの現状と今後の課題**

○菊知 充、廣澤 徹

金沢大学医学系精神行動科学

〔指定発言者〕

加藤 寛

兵庫県こころのケアセンター

〈メインコーディネーター〉 富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〈サブコーディネーター〉 深澤 隆 医療法人財団青仁会・青南病院

16:20~18:20 **シンポジウム 64**

いじめ被害の防止と回復のために～多職種でなすべきこと～

司会：榎屋 二郎 東京医科大学精神医学分野
福地 成 東北医科薬科大学医学部精神科学

SY64-1 **いじめ被害の防止と回復のために多職種でなすべきこと～精神医学・心理学の立場から～**

○榎屋 二郎

東京医科大学精神医学分野

SY64-2 三重大学附属小学校校長としての現場実践や教育学の立場

○松浦 直己
三重大学教育学部

SY64-3 いじめ被害の防止と回復のために～法律家の思考と役割～

○野村 武司
東京経済大学

SY64-4 いじめ重大事態の核心と科学的予防：発達障害・SNS・交際関係等のリスク要因分析と多職種連携の展望

○和久田 学
公益社団法人子どもの発達科学研究所

【指定発言者】

八木 淳子
岩手医科大学医学部神経精神科学講座

【指定発言者】

福地 成
東北医科薬科大学医学部精神科学

〈メインコーディネーター〉 榊屋 二郎 東京医科大学精神医学分野
〈サブコーディネーター〉 八木 淳子 岩手医科大学医学部神経精神科学講座
福地 成 東北医科薬科大学医学部精神科学

6月19日(金) K会場(パシフィコ横浜ノース 3F G320)

8:30~10:30 シンポジウム 65

ヘルシンキ宣言2024年改訂における脆弱性概念の変化とケアの倫理：精神医学研究へのインパクト

司会：栗原（斉尾）千絵子 (株)臨床評価刊行会編集委員会／神奈川歯科大学
宮岡 等 北里大学

SY65-1 「弱さ」を包摂するケアの倫理－研究倫理の変容は「構造的不平等」を乗り越えるのか

○栗原（斉尾）千絵子
(株)臨床評価刊行会編集委員会

SY65-2 自律から関係性へ：データ駆動型研究における主体性の回復とケアの倫理

○井上 恵子
医療過誤原告の会

SY65-3 患者参画の時代に求められる知識と行動の学習コースと患者・市民によるヘルシンキ宣言の理解と普及について

○今村 恭子
一般社団法人医療開発基盤研究所

SY65-4 ヘルシンキ宣言と人権モデル：ヘルシンキ宣言における包摂的排除の問題

○石原 孝二
東京大学大学院総合文化研究科



SY65-5

ヘルシンキ宣言と精神科臨床研究

○宮岡 等
北里大学

〔指定発言者〕

甲斐 寛人
愛知教育大学教育学部

〔指定発言者〕

齊藤 嘉子
乳がんサバイバー

〔指定発言者〕

内田 絵子
NPO法人ブーゲンビリア／患者の声協議会

〈メインコーディネーター〉 栗原（斉尾）千絵子 （株）臨床評価刊行会編集委員会／神奈川歯科大学
〈サブコーディネーター〉 宮岡 等 北里大学

10:40～12:40 **シンポジウム 66（医療倫理委員会）**
精神科医療における情報公開と意思決定支援

司会：藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部
新村 秀人 大正大学臨床心理学部

SY66-1

精神科医療におけるオープンノートの可能性

○榊原 英輔
東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学講座

SY66-2

精神科事前指示がより身近なものとなるために

○石川 博康
島田病院精神科

SY66-3

精神科非同意治療における適正手続と透明性 -山梨県立北病院における非同意治療審査システムの構築と運用-

○三澤 史斉
山梨県立北病院

SY66-4

意思決定支援に看護はどう寄与できるのか

○松長 麻美
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

14:05~16:05 **シンポジウム 67 (法委員会)**
日本精神神経学会は精神障害者等の死刑に反対の表明をすべきか—WPA 声明への態度の予備的議論

司会：中島 直 日本精神神経学会法委員会／医療法人社団新新会多摩あおば病院
岡崎 伸郎 日本精神神経学会法委員会／古川駅前メンタルクリニック

SY67-1 **精神障害者への死刑は妥当か**

○八木 深
独立行政法人国立病院機構花巻病院

SY67-2 **死刑制度の存在理由と正当化根拠をめぐって**

○井田 良
中央大学法科大学院

SY67-3 **死刑と精神鑑定—判決文分析から見える判断構造と精神科医の倫理的葛藤**

○柏木 宏子
国立精神・神経医療研究センター

〔指定発言者〕

宮田 量治
日本精神神経学会法委員会／地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院

〈メインコーディネーター〉 中島 直 日本精神神経学会法委員会／医療法人社団新新会多摩あおば病院
〈サブコーディネーター〉 八木 深 日本精神神経学会法委員会／独立行政法人国立病院機構花巻病院

16:20~18:20 **シンポジウム 68 (司法精神医学研修委員会)**
触法行為を伴う精神障害者と社会 — 回復と共生に向けて分かち合う視座

司会：柏木 宏子 国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部
澤田 健 高知県・高知市病院企業団高知医療センターこころのサポートセンター

SY68-1 **触法精神障害者の処遇に関する法制度**

○五十嵐 禎人
千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

SY68-2 **医療観察法/矯正医療の「その前」-「患者」を「対象者」「犯罪者」にしないための精神科救急-**

○今井 淳司
東京都立松沢病院精神科

SY68-3 **司法精神医療の中の医療観察法医療**

○竹田 康二
国立精神・神経医療研究センター

SY68-4 **矯正施設における精神科医療の現状と互恵的発展の可能性**

○関口 陽介
宮城県立精神医療センター医療局

〔指定発言者〕

柏木 宏子
国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部

〈メインコーディネーター〉 関口 陽介 宮城県立精神医療センター医療局
〈サブコーディネーター〉 柏木 宏子 国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部



6月19日(金) L会場(パシフィコ横浜ノース 4F G404)

9:00~12:30 **精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ6** 英→日AI翻訳あり
機能評価ツール「Cognitive Assessment Interview(CAI)」ワークショップ:概説と面接実践

司会: 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座
内野 敬 東邦大学医学部社会実装精神医学講座

PW6 <講演者> Joseph Ventura Department of Neuropsychiatry and Behavioral Sciences, Geffen School of Medicine, UCLA, USA

小野田 太郎 医療法人財団厚生協会東京足立病院
竹内 一真 社会医療法人あさかホスピタル

<メインコーディネーター> 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座
<サブコーディネーター> 小野田 太郎 医療法人財団厚生協会東京足立病院

14:40~18:10 **精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ7**
措置診察実践セミナー

司会: 新津 富央 千葉大学大学院医学研究院精神医学
瀬戸 秀文 福岡県立精神医療センター大宰府病院

PW7 <講演者> 平田 豊明 千葉県総合救急災害医療センター・木村病院
椎名 明大 千葉大学社会精神保健教育研究センター
中西 哲朗 千葉大学大学院医学研究院精神医学
藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター

<メインコーディネーター> 新津 富央 千葉大学大学院医学研究院精神医学
<サブコーディネーター> 藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター
田所 重紀 札幌医科大学精神医学

6月19日(金) M会場(パシフィコ横浜ノース 4F G403)

8:30~10:30 **シンポジウム69**
「精神」と「身体」をつなぐリハビリテーション - QOLを高めるための新たなアプローチをめざして -

司会: 平川 淳一 医療法人社団光生会平川病院
橋本 学 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

SY69-1 **精神科における身体的リハビリテーションの現在地-精神科病院と一般病院における実態-**
○橋本 学
国立病院機構肥前精神医療センター

SY69-2 **リハビリテーション科医からみた回復期リハビリテーションと精神科患者**
○岡崎 哲也
博愛会病院

SY69-3 **精神科における身体リハビリテーションの実際 -アディクション医療の現場から-**
○山本 絵美、知念 成美、松村 倫江、楠 大介、湯本 洋介、横山 顕、松崎 尊信、木村 充
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

SY69-4 **精神科理学療法の意義と実践 -精神科医療における身体リハビリテーションの一視点-**
○荒川 英樹
宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科

SY69-5 **精神科入院医療における身体リハビリテーションの重要性について—平川病院の挑戦の報告**
○平川 淳一
医療法人社団光生会平川病院

【指定発言者】

吉村 匡史
関西医科大学リハビリテーション学部

〈メインコーディネーター〉 橋本 学 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター
〈サブコーディネーター〉 平川 淳一 医療法人社団光生会平川病院

10:40~12:40 **シンポジウム 70 (多職種協働委員会)**
精神疾患で認知機能が低下した人に対し、多職種協働でどのように身体的治療を進めていくか

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
宮内 和瑞子 医療法人医生会宮内クリニック

SY70-1 **多職種で精神・身体疾患の人工的な壁を壊して新たな統合へ**
○船山 道隆
足利赤十字病院神経精神科

SY70-2 **非同意治療における同意判断能力評価について～改訂版判断能力評価用構造化面接 (SICIATRI-R)を中心に～**
○内藤 はづき
地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院

SY70-3 **精神疾患により認知機能が低下した人の身体的治療におけるデシジョンコーチングの可能性**
○大石 麻紀
聖マリアンナ医科大学病院

SY70-4 **精神疾患を背景に持つ患者の身体外科治療における課題と対応—外科医の立場から—**
○和氣 仁美
東京都立松沢病院外科

SY70-5 **法律的にはどのように考え取り組めばよいだろうか**
○島戸 圭輔
二番町法律事務所

【指定発言者】

宇田川 健
コンボ

〈メインコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
〈サブコーディネーター〉 宮内 和瑞子 医療法人医生会宮内クリニック



13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 12**

司会：河野 美帆 医療法人一誠会都城新生病院

SPL12 **子どもの統合失調症の診断と治療のエビデンスと課題**

○岡田 俊
奈良県立医科大学精神医学講座

共催：住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部

14:45~18:10 **ワークショップ 10 (アンチスティグマ委員会)**

映画「どうすればよかったか？」から考える 日本のアンチスティグマ活動においてこれから
なすべきこと

司会：今村 弥生 川崎市健康福祉局
渡辺 雅子 新宿神経クリニック

WS10 <講演者>

藤野 知明	Moving Images Studio Zou-shima
浅野 由美子	Moving Images Studio Zou-shima
夏莉 郁子	やきつべの径診療所
小口 芳世	帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科

<メインコーディネーター> 今村 弥生 川崎市健康福祉局
<サブコーディネーター> 渡辺 雅子 新宿神経クリニック

6月19日(金) N会場(パシフィコ横浜ノース 4F G401+G402)

8:30~9:10 **教育講演 13**

司会：竹内 崇 東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当

EL13 **精神科医に必須な高次脳機能障害のポイント：明日からの診察が変わる視点**

○船山 道隆
足利赤十字病院神経精神科



9:10~9:50 **教育講演 14**

司会：菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

EL14 **精神医学、精神療法を再考するーオートポイエーシス、社会システム理論、基礎情報学、感情科学をふまえて**

○原田 誠一
原田メンタルクリニック



9:50~10:30 **教育講演 15**

司会：菊知 充 金沢大学医学系精神行動科学

EL15 **医学の観点から見た境界知能**

○古荘 純一
青山学院大学 / 昭和医科大学



10:40~12:40 **会長企画シンポジウム 5**
中学校の学校教育に求められる精神保健の役割と精神医療との協働

司会：森 良一 東海大学体育学部体育学科
水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル

PS5-1 **学校を基盤とした精神保健に関する施策の現状と課題 —予防・早期発見から医療連携への展開—**

○柏原 聖子
狛江市教育委員会

PS5-2 **子どもたちの心身の成長を支えるために —中学校現場の早期対応と医療連携—**

○岩佐 知美
高槻市立冠中学校

PS5-3 **中学校における精神保健に関する指導の重要性と国の取組**

○岩田 悟
スポーツ庁

PS5-4 **精神医療と学校との協働における課題**

○内野 敬
東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 内野 敬 東邦大学医学部社会実装精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 森 良一 東海大学体育学部体育学科

13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 13**

司会：笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

SPL13 **不眠症治療戦略～オレキシン受容体拮抗薬への期待～**

○内村 直尚
久留米大学

共催：大正製薬株式会社 / Meiji Seika ファルマ株式会社



14:05~14:45 **教育講演 16**

司会：熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室

EL16 **精神科デジタル・トランスフォーメーションの現在地 —AI時代の臨床・研究開発・規制—**

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター



14:45~15:25 **教育講演 17**

司会：中村 元昭 昭和医科大学

EL17 **ニューロモデュレーション療法：Up-to-Date**

○鬼頭 伸輔
東京慈恵会医科大学精神医学講座



15:25~16:05 **教育講演 18**

司会：神出 誠一郎 群馬大学神経精神医学分野

EL18 **統合失調症—NMDA 受容体仮説からみた基礎と臨床の接点**

○中沢 一俊
社会医療法人あさかホスピタル



16:20~18:20 **会長企画シンポジウム 6**
精神科訪問看護における多職種連携の実践と課題

司会：山田 典子 横浜市立大学精神看護学
木崎 英介 医療法人財団厚生協会大泉病院

PS6-1 **精神科訪問看護における多職種連携の実践と課題**

○河野 千秋
社会医療法人あさかホスピタル

PS6-2 **地域精神医療の安定供給に向けた、精神科訪問看護の人材育成と医療処置を伴う訪問継続における課題の検討**

○大谷 茂
株式会社 QUESERASERA 心笑訪問看護ステーション

PS6-3 **障害区分の軽い入居者の願いを叶えるために行っている日常生活支援**

○川村 美江¹、山田 典子²
¹特定非営利活動法人西区はーとの会第一戸部荘、²横浜市立大学医学部看護学科

PS6-4 精神科訪問看護における多職種連携の実践と課題：精神科訪問看護の概要と地域包括ケアシステムにおける役割
○山田 典子
横浜市立大学

PS6-5 精神科訪問診療医が考える現在の精神科在宅支援と多職種連携について一支援者、同じく依頼される立場から
○木崎 英介
医療法人財団厚生協会大泉病院

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル
〈サブコーディネーター〉 山田 典子 横浜市立大学精神看護学

6月19日(金) O会場(パシフィコ横浜ノース 4F G414+G415)

8:30~10:30 シンポジウム71 (精神科医療機器委員会)
ECTの地域連携を活性化させるために

司会：野田 隆政 国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部
坂寄 健 日本医科大学付属病院

SY71-1 海外ECT事情
○青木 宣篤
関西医科大学精神神経科学講座

SY71-2 本邦における外来電気けいれん療法(ECT)の現状と課題：諸外国との比較から見える障壁
○諏訪 太郎
京都大学医学部附属病院精神科神経科

SY71-3 rTMSとECTの適応
○林 大祐
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY71-4 基幹病院におけるECT麻酔の工夫—けいれん誘発効率とハイリスク症例対応の両立—
○奥村 正紀
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立豊島病院

SY71-5 地域連携を促進するための右片側性ECT
○川島 啓嗣
京都大学医学部附属病院緩和医療科

SY71-6 専門的治療の地域連携活性化への東京都の取り組み
○野田 隆政
国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

〔指定発言者〕

飯田 仁志
福岡大学医学部精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 野田 隆政 国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部
〈サブコーディネーター〉 坂寄 健 日本医科大学付属病院



10:40~12:40

シンポジウム 72

診療ガイドラインの読み方・使い方・活かし方—推奨を「生きた指針」に変える実践知

司会：古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
河野 美帆 医療法人一誠会都城新生病院

SY72-1 統合失調症薬物治療ガイドライン2022

○稲田 健
北里大学医学部精神科学

SY72-2 うつ病診療ガイドライン2025の全体像と臨床実装

○加藤 正樹
関西医科大学医学部精神神経科学講座

SY72-3 日々の臨床で診療ガイドライン双極症2023をうまく活かす

○松尾 幸治
埼玉医科大学病院

SY72-4 社交不安症、パニック症、強迫症の診療ガイドラインの活かし方

○清水 栄司¹、塩入 俊樹²、朝倉 聡³、松永 寿人⁴、井上 猛⁵
¹千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、²岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座精神病理学分野、
³北海道大学保健センター、⁴兵庫医科大学精神科神経科学教室、⁵札幌花園病院

SY72-5 精神疾患の各種診療ガイドラインを「知識」から「行動」へ：普及・実装戦略の現在と未来

○坪井 貴嗣
杏林大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室

13:00~13:50

スポンサードレクチャー 14

司会：高尾 哲也 医療法人イプシロン

SPL14 遅発性ジスキネジアの診断と治療

○梶 龍兒
徳島大学研究支援・産官学連携センター

共催：田辺ファーマ株式会社

14:05~16:05

シンポジウム 73 (国際委員会)

英→日 AI 翻訳あり

メンタルヘルスの社会的決定要因、その影響および介入に関する国際比較
Social Determinants of Mental Health, Its Impact, and Intervention: International Comparison

司会：高橋 英彦 東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学
秋山 剛 六番町メンタルクリニック

SY73-1 Breaking the Cycle of Social Determinants of Mental Health: Trauma-Informed Care and the Mental Health Supporter Program in Japan

○Daisuke Nishi
Japanese Society of Psychiatry and Neurology / Department of Mental Health, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Japan

SY73-2

The “Changing Environment” of the Social Determinants of Mental Health

○Mark H. Rapaport
American Psychiatric Association

SY73-3

The Impacts of Housing Price and Geopolitical Instability on Mental Health in Taiwanese People

○Cheng-Fang Yen
Taiwanese Society of Psychiatry / Department of Psychiatry, Kaohsiung Medical University Hospital, Kaohsiung Medical University, Taiwan

SY73-4

Social Determinants of Elderly Suicide in Korea

○Dong-woo Lee, Seung-jun Kim
Korean Neuropsychiatric Association / Department of Psychiatry, Inje University Sanggye Paik Hospital, Korea

〈メインコーディネーター〉 高橋 英彦 東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学
〈サブコーディネーター〉 青木 藍 名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学

16:20~18:20

シンポジウム 74

安全安心な不眠医療を実践するためのアジェンダ

司会：三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
稲田 健 北里大学医学部精神科学

SY74-1

安全安心な不眠医療を実践するためのアジェンダ

○三島 和夫
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

SY74-2

不眠医療における認知行動療法（CBT-I）の効果と位置づけ

○岡島 義
東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科

SY74-3

睡眠薬に優先順位はあるのか

○櫻井 準
杏林大学医学部精神神経科学教室

SY74-4

睡眠薬の適切な減薬・中止：エビデンスに基づく出口戦略の現状と課題

○村岡 寛之
北里大学医学部精神科学

〈メインコーディネーター〉 稲田 健 北里大学医学部精神科学
〈サブコーディネーター〉 鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系精神医学分野



6月19日(金) P会場(パシフィコ横浜ノース 4F G416+G417)

8:30~10:30

シンポジウム 75

身体合併症を背景に持つ精神運動興奮への挑戦:医療連携で挑む診断・治療戦略

司会: 竹内 啓善 千葉大学大学院医学研究院精神医学
辻野 尚久 済生会横浜市東部病院精神科

SY75-1

身体合併症を伴う精神運動興奮への系統的アプローチ:鑑別診断と初期介入の原則

○小口 芳世
帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科

SY75-2

身体合併症を伴う精神運動興奮への薬物療法的介入:薬剤選択と投与時の注意点

○村岡 寛之
北里大学医学部精神科学

SY75-3

身体合併症を伴う精神運動興奮に対する鎮静管理を考える

○根本 康
さいたま市立病院精神科

SY75-4

救命救急医が診る精神運動興奮について:精神科医との連携を踏まえて

○船曳 知弘
藤田医科大学病院高度救命救急センター

【指定発言者】

成瀬 治
東海大学医学部付属病院

〈メインコーディネーター〉 辻野 尚久 済生会横浜市東部病院精神科
〈サブコーディネーター〉 小口 芳世 帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科

10:40~12:40

Fellowship Award Symposium 4 (国際委員会)

Case Vignette: Diagnosis and Management of Sleep Behavior Disorders in Older Adults

(ケースビネット:高齢者における睡眠時の行動障害の診断と支援)

Chairperson: Emiri Ohki Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital

FAS4-1

REM Sleep Behavior Disorder: Case Analysis through a Lens of Translational Sleep Research and Multidisciplinary Care

○Andre C. Tonon
Department of Psychiatry and Behavioural Neurosciences, McMaster University, Canada

FAS4-2

REM Sleep Behaviour Unfolding as a Marker of Underlying Illness

○Rika Rijal
Department of Psychiatry, Kathmandu University School of Medical Sciences (KUSMS), Nepal

FAS4-3

Sleep Disorders as Early Sign of Neurodegenerative Diseases

○Anna Petrosyan
Yerevan State Medical University after Mkhitar Heratsi, Department of Psychiatry, Armenia

FAS4-4

Psychiatric Contributions to REM Sleep Behaviour Disorder: Care, Communication, and Curriculum

○Yukiyoshi Sumi

Yoyogi sleep disorders clinic / Department of Somnology, Tokyo Medical University, Japan

〈メインコーディネーター〉 田鎖 遥
〈サブコーディネーター〉 安藝 森央

神奈川県立精神医療センター
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

14:05～16:05

シンポジウム 76

総合病院精神科はいかにして生き残るか：医学的・社会的意義の再考

司会： 柏木 智則 札幌医科大学医学部精神医学講座
五十嵐 江美 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

SY76-1

総合病院精神科病棟の存続の危機：それでも生き残る意義は大きい

○船山 道隆

足利赤十字病院神経精神科

SY76-2

精神科単科病院から見た総合病院精神科の「翻訳」と「共助」の意義

○板東 ひろみ

なぎまちメンタルクリニック

SY76-3

総合病院精神科医から見た、総合病院精神科と精神科病院における役割の比重

○大矢 希

京都第二赤十字病院こころの医療科

SY76-4

総合病院精神科～精神科病院からの派遣医の立場で～

○齋藤 円

市立ひらかた病院

SY76-5

総合病院精神科医の生き残り方：臨床教育と行政施策の観点からみた存在意義の再構築

○田中 裕記^{1,2}

¹国立病院機構九州医療センター精神神経科/合併精神センター、

²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

〔指定発言者〕

西村 勝治

医療法人寛裕会浜野ホスピタル

〈メインコーディネーター〉 柏木 智則 札幌医科大学医学部精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 五十嵐 江美 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

16:20～18:20

シンポジウム 77

妊産婦の自殺をどう防ぐか ―日本産婦人科医会と連携して―

司会： 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
相良 洋子 日本産婦人科医会/昭和医科大学

SY77-1

妊産婦の自殺の現状とその予防に対する日本産婦人科医会の取り組み

○相良 洋子

日本産婦人科医会



SY77-2

妊産婦死亡報告事業における妊産婦自殺の実態と「母体安全への提言」

○田中 佳世^{1,2}

¹社会医療法人愛育会まつばセレディースクリニック、

²公益社団法人日本産婦人科医会妊産婦死亡症例検討評価委員会

SY77-3

事例から考えるハイリスクアプローチ

○鈴木 利人

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

SY77-4

救急現場での未遂者への再企図予防アプローチ

○竹内 崇

東京科学大学病院精神科

SY77-5

対人関係療法をベースとしたアプリを用いたポピュレーションアプローチ

○利重 裕子¹、茶谷 奈津美²、川崎 志織²、後藤 志信³、古川 壽亮⁴、高橋 祐策⁵、岡見 拓哉¹、
島崎 美咲¹、田中 英三郎⁶、水島 広子⁷、明智 龍男¹

¹名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、²塩野義製薬株式会社DX新規事業推進室、

³名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科学分野、⁴京都大学成長戦略本部、

⁵塩野義製薬株式会社データサイエンス部、⁶東京大学相談支援研究開発センターキャンパスウェルビーイング推進分野、

⁷水島広子こころの健康クリニック

〈メインコーディネーター〉 竹内 崇 東京科学大学病院精神科

〈サブコーディネーター〉 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

6月19日(金) Q会場(パシフィコ横浜ノース 4F G418+G419)

8:30~10:30

シンポジウム 78

多文化共生社会における精神科救急と地域包括ケアの新展開

司会：林 偉明 千葉県精神保健福祉センター
清水 俊宏 埼玉県立精神医療センター

SY78-1

外国人診療での多言語対応と地域包括ケアを展望する～都立松沢病院精神科救急における調査から～

○大木 絵美梨、今井 淳司、近藤 伸介、布村 明彦

地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院精神科

SY78-2

精神科救急における外国人对応の実態と生成AI活用の検討—通訳不在が招く支援断絶と地域包括ケアとの連携—

○高橋 由美子¹、花岡 晋平^{1,2}

¹千葉県総合救急災害医療センター、²東邦大学医学部社会医学講座

SY78-3

神奈川県立精神医療センターにおける外国人患者の精神科救急対応と通訳支援の現状

○吉田 浩司、福井 英里

神奈川県立精神医療センター

SY78-4

定住化が進む外国人患者への精神科救急医療—急性期言語支援から地域移行支援の連結に向けて—

○栗原 郁奈子、清水 俊宏、三ツ橋 じゅん、鶴澤 奈々、藤澤 朋生、黒木 規臣

埼玉県立精神医療センター

〔指定発言者〕

阿部 裕

四谷ゆいクリニック／明治学院大学心理学部

【指定発言者】

花岡 晋平

千葉県総合救急災害医療センター／東邦大学医学部社会医学講座

〈メインコーディネーター〉 花岡 晋平

千葉県総合救急災害医療センター／東邦大学医学部社会医学講座

〈サブコーディネーター〉 清水 俊宏

埼玉県立精神医療センター

10:40～12:40 シンポジウム 79

“やめられない”にどう答えるか:ギャンブル依存の臨床と科学

司会：松下 幸生 国立病院機構久里浜医療センター精神科
松崎 尊信 国立病院機構久里浜医療センター精神科

SY79-1 オンラインギャンブルの現状と対策

○小原 圭司^{1,2}

¹社会医療法人正光会松ヶ丘病院、²大阪商業大学

SY79-2 ギャンブル依存症の実態と変化、ギャンブルのオンライン化による臨床的課題

○松崎 尊信、古野 悟志、岡田 瞳、高山 輝大、松下 幸生

国立病院機構久里浜医療センター精神科

SY79-3 「やめられない」の神経基盤 ～ギャンブル行動症の脳画像研究～

○鶴身 孝介

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)

SY79-4 ギャンブル行動症の診療を標準化する：一般精神科医療での実装ポイント

○橋本 望

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

SY79-5 ギャンブル問題はどのように変化するのか：習慣的ギャンブラーの縦断調査から

○古賀 佳樹¹、柴山 笑凜¹、木戸 盛年²、野田 龍也³、伊東 千絵子⁴、黄 智暎⁵、松下 幸生¹

¹独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター、²愛知みずほ大学、³関西医科大学、⁴奈良県精神保健福祉センター、⁵武庫川女子大学

【指定発言者】

松下 幸生

国立病院機構久里浜医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 松下 幸生

国立病院機構久里浜医療センター精神科

〈サブコーディネーター〉 松崎 尊信

国立病院機構久里浜医療センター精神科

13:00～13:50 スポンサードレクチャー 15

司会：富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

SPL15

BPSDの治療における漢方の有用性-BPSDに対応する向精神薬使用ガイドラインの改訂を含めて-

○新井 哲明

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

共催：株式会社ツムラ



14:05~16:05

シンポジウム 80

薬物依存症臨床の現在～若者における市販薬使用症の実態と治療

司会：成瀬 暢也 埼玉県立精神保健福祉センター
松本 俊彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY80-1 全国の高校生における市販薬乱用の実態と予防啓発の方向性

○嶋根 卓也
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

SY80-2 市販薬使用症患者に対する治療の実践と課題

○沖田 恭治、石井 香織、齊藤 友美、松本 俊彦
国立精神・神経医療研究センター

SY80-3 熊本県における若者の市販薬使用症に関する医療・行政機関・回復施設の連携の現状と課題

○比江島 誠人
医療法人横田会向陽台病院

SY80-4 これからの依存症臨床が進むべき道～精神科医療の原点を見つめて～

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

【指定発言者】

松本 俊彦
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 松本 俊彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
〈サブコーディネーター〉 成瀬 暢也 埼玉県立精神保健福祉センター

16:20~18:20

シンポジウム 81

社会とつながる精神医療—医療・教育・地域で支えるゲーム行動症支援の実際

司会：松崎 尊信 国立病院機構久里浜医療センター精神科
館農 勝 特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院

SY81-1 ゲーム行動症を社会で支える—医療・教育・地域連携の視点から

○松崎 尊信、三原 聡子、北湯口 孝、前園 真毅、長谷川 朋子、樋口 進
国立病院機構久里浜医療センター精神科

SY81-2 思春期を対象とした地域連携・多職種連携によるゲーム行動症支援

○館農 勝
特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院精神科

SY81-3 ネット依存の疫学研究と学校でのエビデンスに基づく依存症教育

○山田 正明
富山大学学術研究部医学系疫学健康政策学講座

SY81-4 ゲーム行動症に対する心理支援の構築と実践

○森山 沙耶^{1,2}
¹株式会社KENZAN/ネット・ゲーム依存予防回復支援MIRA-i、
²筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群カウンセリング科学学位プログラム

〔指定発言者〕

樋口 進

国立病院機構久里浜医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 松崎 尊信

国立病院機構久里浜医療センター精神科

〈サブコーディネーター〉 館農 勝

特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院

6月19日(金) R会場(パシフィコ横浜ノース 4F G420)

8:30~10:30

シンポジウム 82

せん妄研究最先端:機序解明から実装型予防・治療へ

司会: 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック
篠崎 元 スタンフォード大学

SY82-1

肝移植術後患者由来ヒト誘導ミクログリア様 (iMG) 細胞を用いた術後せん妄の病態解析

○山西 恭輔^{1,2}、今岡 祐輝³、Nathan James Phung²、西谷 正太²、佐々木 一成³、松永 寿人¹、篠崎 元²

¹兵庫医科大学医学部精神科神経科学、²スタンフォード大学精神科・行動科学、

³スタンフォード大学外科学腹部移植部門

SY82-2

てんかん焦点切除術由来の患者脳組織を用いたマルチオミックス解析による術後せん妄病態形成機構の解明

○石井 崇也¹、篠崎 元²

¹住友ファーマ株式会社/株式会社 RACTHERA、²スタンフォード大学

SY82-3

トレッドミル運動のせん妄予防効果: BSEEG マウスモデルでの検討

○青山 文

独立行政法人国立病院機構高知病院麻酔科

SY82-4

複数指標による術後せん妄の予測、重症度モニタリング

○山梨 豪彦

鳥取大学医学部精神行動医学分野

SY82-5

多層的せん妄研究の総括: 病態理解から実装可能な介入戦略へ

○篠崎 元

スタンフォード大学

〈メインコーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック

〈サブコーディネーター〉 篠崎 元 スタンフォード大学

10:40~12:40

シンポジウム 83

精神分析的なモノを一般精神医療やメンタルヘルス領域に活用する: 面接室を超えた精神分析の応用

司会: 鈴木 智美 医療法人社団桜珠会可也病院/精神分析キャビネ
江崎 幸生 藤田医科大学医学部精神医学教室

SY83-1

摂食障害を患うひとと治療継続していくために

○鈴木 智美

可也病院/精神分析キャビネ



SY83-2 面接室を超えた精神分析の応用：肝移植領域の精神リエゾンにおける活用

○木村 宏之
名古屋大学医学部附属病院

SY83-3 自殺に関連した臨床と自殺対策における精神分析的な理解

○衛藤 暢明
福岡大学医学部精神医学教室

SY83-4 働きやすく、働きがいのある病院づくりに精神科医はどう関われるのか

○白波瀬 丈一郎
東京都済生会中央病院

SY83-5 精神分析を生業とする精神科医が実践する精神医療の開拓：「社会的ひきこもり」へのアプローチを振り返る

○加藤 隆弘
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〔指定発言者〕

江崎 幸生
藤田医科大学医学部精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 加藤 隆弘 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
〈サブコーディネーター〉 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

14:05～16:05 **シンポジウム 84**

本邦初の外来統合失調症リアルワールドメタデータ研究：MUSASIの挑戦

司会：古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
三木 和乎 三木メンタルクリニック

SY84-1 統合失調症における薬物治療の最適化：外来診療を中心に

○竹内 啓善
千葉大学大学院医学研究院精神医学

SY84-2 Monotherapy vs. Polypharmacy in MUSASI2023 一本邦初の大規模統合失調症外来リアルワールドデータ解析

○勝元 榮一
かつもとメンタルクリニック

SY84-3 MUSASI 2023における再発と社会機能の関連

○嶽北 佳輝
関西医科大学医学部精神神経科学講座

SY84-4 統合失調症外来患者における障害年金受給関連因子と潜在的受給者の推計：MUSASI調査二次解析

○有川 雅俊
医療法人三精会汐入メンタルクリニック

〔指定発言者〕

足立 直人
足立医院

〔指定発言者〕

中込 和幸
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 勝元 榮一 かつもとメンタルクリニック
〈サブコーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
窪田 幸久 中央公園クリニック

16:20~18:20 **シンポジウム 85**

精神疾患の治療開発におけるトランスレーショナルアプローチ:脳内炎症とミクログリア異常を標的として

司会: 松永 寿人 兵庫医科大学精神科神経科学教室
岩田 正明 鳥取大学医学部精神行動医学分野

SY85-1 ヒト血液由来ミクログリア様 (iMG) 細胞の開発によるダイナミックな精神病理現象の解明

○加藤 隆弘¹、久良木 聡太²、稲嶺 翔吾²、扇谷 昌宏³

¹北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、²九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野、³旭川医科大学医学部解剖学

SY85-2 強迫症の難治性マーカー探索～自閉症スペクトラム障害合併例を含む末梢血・iMGを用いた包括的遺伝子解析～

○山西 恭輔、松永 寿人

兵庫医科大学医学部精神科神経科学

SY85-3 脳内炎症とミクログリア異常を標的とする周産期うつ病の治療開発

○富田 博秋^{1,2}、兪 志前^{1,2}、菊地 紗耶^{1,2}、小林 奈津子²、李 雪¹、坂井 舞¹、上間 一寧¹、小野 千晶¹

¹東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、²東北大学病院

SY85-4 ストレス誘発性脳内炎症を標的としたβヒドロキシ酪酸の基礎および臨床研究

○岩田 正明

鳥取大学医学部精神行動医学分野

〈メインコーディネーター〉 岩田 正明 鳥取大学医学部精神行動医学分野

〈サブコーディネーター〉 松永 寿人 兵庫医科大学精神科神経科学教室

6月19日(金) ポスター会場(パシフィコ横浜ノース 1F G1~G4)

8:30~9:30 **一般演題 19**
統合失調症とその類縁4

司会: 山澤 涼子 医療法人財団厚生協会大泉病院

2-FP19-1 なんで昔から世界中で100人に1人が統合失調症になるの? 進化精神医学の視点から解き明かす統合失調症の機能

○荒田 智史

医療法人FLATSヒルサイドクリニック

2-FP19-2 LAIの理解と痛み軽減への期待は導入意欲を高めるか: 5分動画を用いた三時点比較研究

○藤田 貢平¹、新武 諒亮⁴、金田 晨吾¹、杉本 裕子¹、古川 和香奈²、森 康浩²、西原 真理³、宮田 淳¹

¹愛知医科大学病院精神神経科、²医療法人交正会笠寺精治療病院、³愛知医科大学いたみセンター、⁴医療法人生生会松蔭病院

2-FP19-3 非内服抗精神病薬治療によって寛解に至ったドパミン過感受性を伴う治療抵抗性統合失調症の一例

○伊豫 雅臣^{1,2}、橋本 佐²、小松 英樹²、中里 道子²

¹国際医療福祉大学大学院、²国際医療福祉大学成田病院精神科



2-FP19-4

メタ認知的対処の自己評価尺度 (MCSS) の臨床的妥当性の検討

○矢野 裕佳子^{1,2}、窪 恵子¹、田上 博喜²、石垣 琢磨³

¹宮崎大学大学院看護学研究科、²宮崎大学医学部看護学科、³東京大学大学院総合文化研究科

2-FP19-5

レセプトデータを用いた初回エピソード統合失調症の患者特性および過去の精神疾患有無別のアウトカムの評価

○嶽北 佳輝¹、阿瀬川 孝治²、馬場 健次³、野坂 忠史³、但馬 匠⁴、船越 雄二郎⁴、高松 良光⁴、加藤 正樹¹

¹関西医科大学医学部精神神経科学講座、²医療法人三精会沁入メンタルクリニック、³住友ファーマ株式会社 R&D 本部メディカルアフェアーズ部、⁴株式会社JMDC 製薬本部リアルワールドエビデンス事業部

2-FP19-6

自我障害に注目した治療抵抗性統合失調症の層別化

○吉川 茜¹、垣内 千尋¹、前嶋 仁¹、稲見 理絵¹、式場 星矢¹、大久保 由衣²、廣瀬 仁樹¹、馬場 元¹、加藤 忠史¹

¹順天堂大学大学院医学系研究科精神・行動科学、²順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院薬剤科

8:30~9:20

一般演題 20

認知症、老年期精神障害2

司会：数井 裕光 高知大学医学部神経精神科学講座

2-FP20-1

プレクリニカル期アルツハイマー病における神経精神症状の存在と影響 (アンコール演題)

○横井 優磨¹、Zachary Sheff²、Kaelyn Rupinski³、Ariana Buterbaugh³、Madeline Tallarico³、Jolanda Muenzel²、Nalin Payakachat²、Alexandra Atkins²

¹日本イーライリリー株式会社、²Eli Lilly and Company、³Adelphi Values

2-FP20-2

認知症被介護者の認知機能と家族介護者の心理的苦痛の関連

○池ノ内 篤子^{1,2}、大久保 直紀³、藤野 善久³、吉村 玲児²

¹産業医科大学病院認知症センター、²産業医科大学医学部精神医学、³産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学

2-FP20-3

演題取り下げ

2-FP20-4

特発性正常圧水頭症とレビー小体型認知症が併存した一剖検例

○関口 裕孝¹、荒深 周生²、竹田 和弘²、鳥居 洋太²、三輪 綾子³、羽瀨 知可子⁴、藤城 弘樹²、岩崎 靖⁵、入谷 修司¹

¹桶狭間病院藤田こころケアセンター、²名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心理学分野、³特定医療法人八誠会もりやま総合心療病院、⁴愛知県精神医療センター、⁵愛知医科大学加齢医学研究所

2-FP20-5

著名人顔認知時の脳活動変化を用いた軽度認知障害の機能的バイオマーカー探索

○肥田 道彦

日本医科大学多摩永山病院精神神経科

8:30~9:30

一般演題 21

知的障害、発達障害1

司会：會田 千重 国立病院機構肥前精神医療センター

2-FP21-1

成人期注意欠如・多動症と自閉スペクトラム症の併存症例で2次障害が顕著であった4症例

○細田 千尋、中鉢 路子、足立 美美、鈴木 徹也、田村 由江

更生保護法人鶴舞会飛鳥病院精神科

2-FP21-2

行動障害を有する知的障害・発達障害に関わる医療従事者向け研修プログラム

○會田 千重¹、岡田 俊²、田中 恭子³、石井 礼花⁴、根本 昌彦⁵、成田 秀幸¹⁰、吉川 徹⁶、山脇 かおり⁷、高橋 和俊⁸、市川 宏伸⁹

¹独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター精神科、²公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座、³独立行政法人国立病院機構菊池病院、⁴東京医科大学病院、⁵国立重度知的障害者総合施設のぞみの園、⁶愛知県医療療育総合センター中央病院、⁷国立障害者リハビリテーションセンター、⁸社会福祉法人侑愛会ゆうあい会石川診療所、⁹日本発達障害ネットワーク、¹⁰ジニアそだちのクリニック

2-FP21-3

神経発達症をもつ人の余暇施設へのアクセシビリティ向上にむけた感覚に優しい取組：高知県の取組を中心に

○高橋 秀俊¹、上野 佳奈子²、吉澤 望³

¹高知大学医学部児童青年期精神医学(寄附講座)、²明治大学理工学部建築学科、³東京理科大学創域理工学部建築学科

2-FP21-4

慢性疼痛患者におけるADHD・ASD症状と疼痛重症化の関連：矢吹研究班（厚労省科研費）による全国多施設研究

○笠原 諭^{1,2}、青野 修一^{3,4}、高槻 梢²、丹羽 真一⁵、矢吹 省司^{2,6}

¹東京大学医学部付属病院麻酔科・痛みセンター、²福島県立医科大学疼痛医学講座、³愛知医科大学医学部疼痛医学講座、⁴玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科、⁵福島県立医科大学会津医療センター附属病院、⁶福島県立医科大学保健科学部理学療法学科

2-FP21-5

神経発達症の進化精神医学

○高野 覚

医療法人社団明雄会本庄児玉病院精神科

2-FP21-6

発熱と意識障害を呈し診断に難渋した、知的障害に合併した悪性カトニアの一例

○戸井田 真木¹、山澤 真穂¹、山田 基文¹、野口 信彦¹、宮内 雅利¹、須田 顕¹、浅見 剛²

¹横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター、²公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科

8:30~9:20

精神科専門医研修中の医師 7

司会：三浦 至

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

2-RP7-1

発達特性・不安傾向を有する青年へのPEERS実践報告

○趙 在禹、鈴木 太、山田 尚登

社会医療法人杏嶺会上林記念病院

2-RP7-2

若年者のメンタルヘルス不調と実用的なバイオマーカーの探索－尿中バイオピリンの可能性について

○鎌田 雅之¹、内野 敬^{2,3}、竹内 一真¹、増田 陽夏¹、関 晶比古³、北野 知地^{1,3}、山岸 俊哉⁴、佐藤 匠造⁴、大島 彬⁴、根本 隆洋^{1,2}

¹東邦大学医学部精神神経医学講座、²東邦大学医学部社会実装精神医学講座、³医療法人財団厚生協会あだち若者サポートテラスSODA、⁴株式会社プリメディアカ

2-RP7-3

妊産婦の自殺念慮に対する大学病院での精神科リエゾンの役割

○佐藤 晃敏、大屋 久晴、内田 恵、明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

2-RP7-4

強度行動障害の精神科入院治療～当院での“普通の”取り組み～

○道場 生基、木津 賢太、西川 由希子、佐々木 慎、北村 一、阪上 悌司

公益財団法人豊郷病院精神科

2-RP7-5

子宮頸がんの治療ストレスにより短期精神症を合併した自閉スペクトラム症の一例

○藤井 友里、倉田 明子、長尾 崇弘、増田 慶一、山下 哲史、今井 天晴、大賀 健市、大村 淳、角 美美、淵上 学、岡田 剛

広島大学病院広島大学精神科



14:05~15:05 一般演題 22
ECT、TMS、ニューロモデュレーション1

司会：櫻井 準 杏林大学医学部精神神経科学教室

2-FP22-1 統合失調症に対する仮想現実技術を用いた体性認知協調療法の臨床効果

○大井 雄太^{1,3,4}、橋詰 みなみ²、近藤 真紀²、高橋 明日香²、松岡 照之²

¹独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター脳神経外科、²独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター精神科、

³独立行政法人国立病院機構渋川医療センター脳神経外科、

⁴京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経機能再生外科学

2-FP22-2 rTMS導入後に疼痛改善したが不安症状のため中止し、薬剤調整で改善に至ったうつ病の一例

○酒井 慎太郎、岩永 健、田山 達之、熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

2-FP22-3 rTMSによる抑うつ症状の変化と抗うつ薬の5-HTT/NET占有率との関連に関する予備的研究

○山田 洸大、小高 文聰、中澤 亜美、垂石 七星、森 啓輔、鬼頭 伸輔

慈恵会医科大学精神科

2-FP22-4 診断に苦慮したが反復経頭蓋磁気刺激療法が効果を示したうつ病の2症例

○中山 知彦¹、上山 佑一郎¹、遠藤 由紀子¹、中瀧 理仁²、沼田 周助²

¹徳島大学病院精神科神経科、²徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

2-FP22-5 Neurocognitive Predictors of EEG Neurofeedback Learning in Healthy Adults

○Yu-shan Wang¹、Shih-jen Tsai²、Hsin-jung Tsai¹

¹National Yang Ming Chiao Tung University, Taiwan、²Taipei Veterans General Hospital, Taiwan

2-FP22-6 Subjective and Objective Responses to Initial EEG Neurofeedback in Major Depressive Disorder

○Cheng-yen Tsai、Hsin-jung Tsai

The Institute of Brain Science of National Yang Ming Chiao Tung University, Taiwan

14:05~15:05 一般演題 23
認知症、老年期精神障害3

司会：中村 祐 香川大学医学部附属病院精神科

2-FP23-1 近時記憶障害がなく、易怒と自分勝手な言動を主症状とする行動認知障害の1例

○鶴飼 克行¹、松井 千恵¹、加藤 貴代¹、山本 梨加²、野村 美夢²

¹社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院、²名古屋大学医学部附属病院

2-FP23-2 ADに伴うアジテーションに対するBrexipiprazoleの有効性：精神症状併発の有無でのサブグループ別解析

○中村 祐¹、槇 敏明²、盛山 裕太²、清水 孝一²、柴崎 佳幸²、戸田 力也²、足立 淳³、廣田 直輝³、中井 正三²、高橋 謙嘉²

¹香川大学医学部附属病院精神科、²大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部、³大塚製薬株式会社新薬開発本部

2-FP23-3 抑うつ症状と主観的・客観的認知機能低下との関連性 -日本人一般高齢者人口による検討-

○金森 正¹、金子 宜之¹、稲垣 宏樹²、岡村 毅²、栗田 主一²、鈴木 正泰¹

¹日本大学医学部精神医学系精神医学分野、²東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム

2-FP23-4

高齢者の孤独軽減を目指す！対話型AI搭載ロボットの開発

○佐竹 祐人^{1,2}、香月 邦彦¹、石丸 大貴^{1,3}、遠藤 一平⁴、坪井 彬⁴、梅村 和弘⁴、Minna Nygren⁵、
Clare Yu⁶、Penny Rapaport⁶、Nadia Bianchi-berthouze⁵、Robert Howard⁶、池田 学^{1,7}

¹大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、²公益財団法人浅香山病院、³大阪大学医学部附属病院医療技術部、
⁴NTT西日本ビジネス営業本部バリューデザイン部、⁵University College London Interaction Centre、
⁶Division of Psychiatry, University College London, United Kingdom、⁷大阪精神医療センター

2-FP23-5

アミロイド抗体治療薬目的に髄液検査を行った49例の内訳、および導入に至った31症例の経過報告

○久門 啓志、吉野 祐太、立花 亜由美、岡野 真梨子、伊賀 淳一、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院精神科

2-FP23-6

Top 5 QT Prolonging Drug Drug Interactions in Elderly Psychiatry Inpatients Receiving Psychotropics

○Chayna Sarkar¹、Arvind Nongpiur²、Julie B. Wahlang¹、Biswadeep Das³

¹Department of Pharmacology, North Eastern Indira Gandhi Regional Institute of Health and Medical Sciences(NEIGRIHMS) Shillong, India、

²Department of Psychiatry, North Eastern Indira Gandhi Regional Institute of Health and Medical Sciences(NEIGRIHMS) Shillong, India、³Department of Pharmacology, AIIMS Rishikesh, India

14:05~15:05

一般演題 24

周産期精神障害

司会：辻野 尚久 済生会横浜市東部病院精神科

2-FP24-1

精神疾患合併妊婦における子ども虐待のリスク因子に関する後方視的研究

○松井 茉莉江¹、高橋 知久¹、斉藤 拓²、長峯 正典²、立森 久照³、戸田 裕之¹

¹防衛医科大学校精神科学講座、²防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学部門、
³慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

2-FP24-2

妊娠喪失歴が周産期うつ病に与える影響：縦断研究

○伊藤 友香¹、佐々木 那津¹、手塚 一秀¹、今村 幸太郎^{1,2}、西 大輔¹

¹東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、²東京大学大学院医学系研究科デジタルメンタルヘルス講座

2-FP24-3

高知大学医学部附属病院における周産期メンタルヘルス対策：児童精神科医の関わり

○高橋 秀俊¹、永井 立平²、高橋 洋平²、大黒 太陽²、下元 優太²、三浦 紀子³、公文 典子⁴、
川村 美保⁴、稲田 美香⁴、西田 拓洋⁵、上村 智子³、浦木 諒³、池 真紀¹、小松 静香¹

¹高知大学医学部児童青年期精神医学(寄附講座)、²高知大学医学部産科婦人科学講座、
³高知大学医学部小児思春期医学講座、⁴高知大学医学部附属病院看護部、⁵高知大学医学部附属病院地域医療連携室

2-FP24-4

親密なパートナーによる暴力と周産期うつ病発症リスクとの関連：妊娠中および産後期間中の前向き研究

○手塚 一秀¹、伊藤 友香¹、佐々木 那津¹、西 大輔^{1,2}

¹東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

2-FP24-5

妊娠発覚時の感情と産後うつの関連

○山田 拓馬^{1,2}、鈴木 滂菜¹、金子 茉実子¹、太田 妙子¹、村越 毅¹

¹総合病院聖隷浜松病院、²社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院

2-FP24-6

周産期における強迫症(OCD)患者の臨床像、治療反応性に関する後方視的調査

○清野 仁美¹、橋本 卓也²、向井 馨一郎¹、松永 寿人¹

¹兵庫医科大学精神科神経科学講座、²山西会こころのクリニック住吉



14:05~14:55 **精神科専門医研修中の医師 8**

司会：坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室

- 2-RP8-1 **症状へのとらわれが顕著な身体症状症患者に対し外来森田療法が奏功した1例～専攻医一年目精神科医の挑戦～**
○松尾 昭宏^{1,2}、館野 歩¹、窪田 裕輔²、川口 憲治¹、黒瀬 有里乃¹、酒井 祥行¹、鬼頭 伸輔¹
¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、²南富士病院
- 2-RP8-2 **原因不明の疼痛を伴う身体症状症の一部には、抗CASPR2自己抗体の存在が背景にある**
○片山 真吾^{1,2}、Gayatri Nayanar³、豊福 明³、高橋 英彦¹、塩飽 裕紀¹
¹東京科学大学精神行動医学分野、²医療法人静和会浅井病院、³東京科学大学歯科心身医学分野
- 2-RP8-3 **アルプラゾラムによる interdose rebound anxiety を呈した2症例**
○竹之内 智、田代 凌太、有村 尚也、島田 尚子、浦田 結嘉、石塚 貴周、福原 竜治、中村 雅之
鹿児島大学病院神経科精神科
- 2-RP8-4 **トラゾドンからダリドレキサントへ切り替え、ISI-Jが改善した2例**
○堀越 理弘、酒井 祥行、石井 洵平、岩下 正幸、小高 文聰、山寺 亘、鬼頭 伸輔
東京慈恵会医科大学精神医学講座
- 2-RP8-5 **統合失調症の不眠へのオレキシン受容体拮抗薬とベンゾジアゼピン系睡眠薬の有効性比較**
○長川 賢^{1,2}、荒井 勇輔^{1,3}、斉藤 健太郎¹、倉石 雄太¹、中静 英理加¹、吉田 真介¹、岸本 道太¹、
白木 俊¹、田中 章¹、矢崎 健彦¹、倉石 和明¹
¹栗田病院精神科、²長野赤十字病院精神科、³信州大学医学部地域精神医療学講座

15:05~15:55 **一般演題 25**
ECT、TMS、ニューロモデュレーション2

司会：富田 真幸 医療法人財団厚生協会大泉病院

- 2-FP25-1 **ECT後の朦朧状態で嘔吐したが化学性肺炎の発症を防げた一例：精神科医、看護師にしかできない
周術期管理**
○多田 羅 翼¹、栗本 直樹^{1,2}、山本 佳樹¹、鶴飼 誠史¹、北野 雅史¹、山田 麻紀¹、川本 孝憲¹、
栗本 藤基¹、椿尾 太加志^{1,3}
¹医療法人藤樹会滋賀里病院精神科、²医療法人藤樹会滋賀里病院麻酔科、³滋賀医科大学精神医学講座
- 2-FP25-2 **神奈川県立精神医療センターにおけるメンテナンス m-ECT 症例22例の検討～維持ECTの可能性と
限界について～**
○北川 理映子¹、西村 康平¹、吉裕 尚彦¹、森脇 久視¹、安藤 富男²
¹神奈川県立精神医療センター精神科、²帝京大学医学部附属溝口病院麻酔科
- 2-FP25-3 **日本におけるうつ病患者に対するECT後の薬物療法の処方実態調査：健康保険請求データベースを
用いた分析**
○西川 大曜^{1,3}、三好 拓海²、熊澤 良祐²、鈴木 龍太郎^{3,4}、村岡 寛之¹、赤沢 学²、稲田 健¹
¹北里大学医学部精神科学教室、²明治薬科大学公衆衛生・疫学研究室、³北里大学大学院医療系研究科、
⁴北里大学医学部地域児童精神科医療学
- 2-FP25-4 **初回の電気けいれん療法にて寛解した単極性うつ病患者の2年後転帰**
○岡本 龍太郎、山下 将平、金原 誠、高木 彬宏、皆尾 望、和田 健
広島市立広島市民病院精神科

2-FP25-5 電気けいれん療法後のアジテーション症状についての臨床疫学的研究

○陳 楼¹、渡辺 杏里¹、綾仁 信貴^{1,2}、松岡 照之^{1,2}、成木 迅¹

¹京都府立医科大学精神機能病態学、²独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター

15:05~16:05 一般演題 26

脳器質性・症状性精神障害、てんかん2

司会：山梨 豪彦 鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

2-FP26-1 日本におけるてんかんに対する公衆の態度の生活地域と生育環境（都市農村）差：全国調査データの事後解析

○倉持 泉^{1,2}、ケルコフ デニー³、岩山 孝幸^{2,4}、小林 清香²、吉益 晴夫²、メイヤー アクセル³

¹国立精神・神経医療研究センターてんかん診療部、²埼玉医科大学総合医療センター、

³ビーレフェルト大学心理・スポーツ科学部、⁴昭和女子大学心理学科

2-FP26-2 人格変化や多動・注意散漫等の激しい急性精神症状を伴った抗SOX1抗体陽性傍腫瘍性神経症候群の1例

○吉田 裕子^{1,5}、杓名 健雄²、佐竹 勇紀³、北村 太郎³、匂坂 尚史³、高間 夏子^{4,5}、荒木 早希⁵、木村 宏之⁶

¹社会医療法人宏潤会大同病院精神科、²社会医療法人宏潤会大同病院呼吸器内科、

³社会医療法人宏潤会大同病院脳神経内科、⁴社会医療法人宏潤会大同病院放射線治療科、

⁵社会医療法人宏潤会大同病院がんサポートチーム、⁶名古屋大学医学部附属病院精神科

2-FP26-3 アルコール関連疾患を背景に50代で発症したラスムッセン脳炎の一例

○砂原 真理子¹、斉藤 聡志¹、梅田 真洋¹、丸山 友佑¹、中田 千尋¹、倉持 泉¹、高橋 幸利²、谷口 豪¹

¹国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部、²国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

2-FP26-4 てんかんに伴う器質性精神症か統合失調症か診断に難渋した一例

○小林 寧緒、榎本 幸輔、押淵 英弘、西村 勝治

東京女子医科大学医学部精神医学講座

2-FP26-5 日本せん妄研究会（JDS）の設立と今後の展望

○山梨 豪彦¹、貞廣 良一²、西澤 由貴³、宮島 美穂⁴、西村 勝治⁵、八田 耕太郎⁶、岸 泰宏⁷、篠崎 元⁸

¹鳥取大学、²国立がん研究センター中央病院、³大阪医科薬科大学、⁴東京科学大学病院、⁵東京女子医科大学病院、

⁶順天堂大学医学部附属練馬病院、⁷日本医科大学武蔵小杉病院、⁸スタンフォード大学

2-FP26-6 新規複合ヘテロ接合性VPS13A遺伝子変異を認めた有棘赤血球舞踏病の1例

○岩城 遼¹、有村 尚也¹、今村 研介¹、齊之平 一隆^{1,2}、浦田 結嘉¹、中村 雅之¹

¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、²医療法人和敬会平和台病院

15:05~15:55 一般演題 27

社会精神医学(災害精神医療)

司会：太刀川 弘和 茨城県立こころの医療センター

2-FP27-1 クマによる人身被害と心理的影響に関するWeb調査：秋田県と他地域の比較

○奥山 純子¹、門廻 充侍²

¹尚綱学院大学健康栄養学類、²秋田大学情報データ科学部

2-FP27-2 地震災害後に心的外傷後ストレス症状と抑うつ症状はどれくらい生じるか

○太刀川 弘和^{1,2}、矢口 知絵^{2,3}、立森 久照⁴、高橋 晶^{1,2,7}、高木 善史⁵、久保 達彦⁶、福生 泰久⁷

¹筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター、

³筑波大学人間総合科学学術院フロンティア医科学学位プログラム、⁴慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室、

⁵岩手県立大学社会福祉学部、⁶広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学、⁷DPAT事務局



2-FP27-3

能登半島地震後、奥能登2市2町への訪問活動の実績報告

○登坂 由香¹、林 正男³、林 律子³、村守 隆史¹、川田 和人¹、松原 三郎^{1,2,3}

¹医療法人松原会七尾松原病院、²社会医療法人財団松原愛育会松原病院、³医療法人松原会穴水こころのクリニック

2-FP27-4

被災者の主観的影響と精神医学的指標の関連：東日本大震災14年後の混合研究法による検討

○内海 裕介¹、瀬戸 萌¹、富本 和歩¹、小松 浩¹、國井 泰人²、富田 博秋^{1,2,3}

¹東北大学病院精神科、²東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

2-FP27-5

演題取り下げ

15:05~15:55 精神科専門医研修中の医師 9

司会：船渡川 智之 東邦大学医学部精神神経医学講座

2-RP9-1

家族関係と支援体制の再構築を要した思春期症例

○西嶋 夕里加、佐久間 陸貴、水野 雅文

社会医療法人あさかホスピタル

2-RP9-2

精神科応急入院患者の実態に関する単施設後方視的研究

○關口 義貴、齊藤 善貴、山崎 健、村岡 寛之、稲田 健

北里大学病院北里大学病院精神神経科

2-RP9-3

僻地における精神科医不在下でのアリピプラゾールLAI導入と持続的支援体制構築

○猪野 裕之^{1,2}、岩田 健¹

¹東京都立多摩総合医療センター、²新島村国民健康保険式根島診療所

2-RP9-4

がん患者に対するメンタル・ヘルス支援と自殺予防の為のアサーティブ・ケースマネジメント介入：予備的研究

○山崎 杏菜^{1,2}、佐野 智章¹、成田 賢治¹、野呂 孝徳¹、古瀬 研吾²、佐藤 謙太郎²、川村 舞¹、昌川 安希子¹、松村 里歩¹、大井 達也¹、築田 昌明²、大西 秀樹³、石田 真弓³、河西 千秋¹

¹札幌医科大学精神医学講座、²JA北海道厚生連帯広厚生病院、³埼玉医科大学国際医療センター

2-RP9-5

措置入院患者における隔離期間長期化に関連する因子の検討

○谷茶 みづき、西村 康平

神奈川県立精神医療センター精神科

16:20~17:00 一般演題 28

摂食障害

司会：稲熊 徳也 東京都立松沢病院

2-FP28-1

急性期の摂食障害の患者の入院時情報から体重推移を予測することは可能か？：試験的検討

○尾崎 孝爾、三井 信幸、味藤 静、成田 尚、宮野 史也、加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

2-FP28-2 受診につながっていない若者の特徴とは？ —摂食障害支援拠点病院の相談記録からみえたこと—
○井上 智子¹、関口 敦^{1,3}、河合 啓介²、田村 奈穂²、須藤 信行³、高倉 修³、竹林 淳和⁴、佐藤 康弘⁵、
菊知 充⁶、佐野 滋彦⁶、鈴木 一恵⁸、今井 淳司⁸、古郡 規雄⁹、加納 優治¹⁰、廣方 美沙²、磯部 智代⁴、
水野 有香⁷、中道 秀尚⁷、高木 大輔⁷、井野 敬子¹

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、²国立国府台医療センター心療内科／相談ほっとライン、
³九州大学病院心療内科、⁴浜松医科大学医学部附属病院精神神経科、⁵東北大学病院心療内科、
⁶金沢大学附属病院神経科精神科、⁷福井大学医学部精神医学、⁸東京都立松沢病院、⁹獨協医科大学精神神経科、
¹⁰獨協医科大学小児科

2-FP28-3 過食嘔吐を伴う摂食症に対するiTBSの可能性—ランダム化比較試験の進捗報告—
○稲川 優多¹、大貫 良幸²、佐藤 謙伍¹、福田 周一¹、岡田 剛史¹、小尾 誠治¹、柳橋 達彦³、倉根 超⁴、
古川 理恵子⁵、三谷 忠宏⁴、山口 真美⁶、金沢 創⁷、鶴見 周摩⁸、門田 行史⁴、須田 史朗¹

¹自治医科大学附属病院精神医学講座、²自治医科大学脳神経外科学講座、
³自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科、⁴自治医科大学小児科学講座、
⁵自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部、⁶中央大学文学部心理学教室、
⁷日本女子大学人間社会学部心理学科、⁸北海道大学大学院文学研究院

2-FP28-4 高齢発症摂食症カテゴリーの臨床像と概念整理：スコアピングレビュー

○稲川 優多¹、小尾 誠治¹、柳橋 達彦²、加藤 梨佳¹、櫻谷 あすか³、金森 悟⁴
¹自治医科大学附属病院精神医学講座、²自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科、
³東京大学大学院医学系研究科社会連携講座デジタルメンタルヘルス講座、⁴帝京大学大学院公衆衛生学研究所

16:20~17:10 一般演題 29
気分障害3

司会：堀之内 徹 北海道大学大学院精神医学教室

2-FP29-1 反復性うつ病の復職支援にトラウマ治療が奏功した一例

○佐久間 春菜¹、佐久間 啓²、水野 雅文²、辻井 崇²
¹社会医療法人あさかホスピタル附属あさかこころクリニック、²社会医療法人あさかホスピタル

2-FP29-2 医療従事者におけるヨガ療法による情緒的消耗への影響：単群前後比較試験（最終報告）

○猪飼 紗恵子^{1,2,3}、神山 咲樹^{2,4}、宗 未来⁵、内田 裕之²
¹南飯能病院精神神経科、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、³トロント大学運動生理学部、⁴さいたま市立病院、
⁵東京歯科大学市川総合病院

2-FP29-3 双極症当事者の困り事に関する横断的オンラインアンケート調査研究

○増田 孝裕¹、松尾 幸治²、加藤 正樹³、松浦 秀俊⁴、小西 修¹、山陰 一⁵、加藤 忠史⁶
¹住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、²埼玉医科大学医学部精神医学、
³関西医科大学医学部精神神経科学講座、⁴株式会社リヴァ、⁵株式会社サテイスタ、⁶順天堂大学医学部精神医学講座

2-FP29-4 リチウム製剤長期服用後も、脳萎縮を認めなかった高齢双極性障害の一例

○稲山 靖弘、渡辺 浩年
渡辺病院

2-FP29-5 うつ病に関するガイドライン教育が精神科医の治療行動に及ぼす波及効果：多施設共同研究

○堀之内 徹¹、荒井 勇輔²、村岡 寛之⁴、山室 和彦⁵、橋本 直樹¹、大井 一高⁶、堀 輝⁷、古郡 規雄⁸、
松本 純弥³、稲田 健⁴、渡邊 衡一郎⁹、越智 紳一郎¹⁰、坪井 貴嗣⁹、川俣 安史⁸、橋本 亮太³

¹北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、²信州大学医学部精神医学教室、
³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、⁴北里大学医学部精神科学、
⁵奈良県立医科大学健康管理センター、⁶岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座精神病理学分野、
⁷福岡大学医学部精神医学教室、⁸獨協医科大学精神神経医学講座、⁹杏林大学医学部精神神経科学教室、
¹⁰愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座



16:20~17:20 **一般演題 30**
社会精神医学(精神保健福祉・多文化精神医学2)

司会：関 英一 社会医療法人あさかホスピタル

2-FP30-1 **精神科診療所ウェブページの情報発信に関する考察：メンタル・デジタルヘルスリテラシー関連表現の分析**

○穴沢 良子、木内 貴弘、奥原 剛
東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野

2-FP30-2 **ピア主導型国際研修会CADPによる若手精神科医の動機づけと異文化感受性の変化**

○山口 博行^{1,7}、錫谷 研^{2,7}、北岡 淳子^{3,7}、大木 絵美梨^{4,7}、新福 伸久^{5,7}、清水 俊宏^{6,7}
¹国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部、²福島県立医大会津医療センター精神医学講座、
³公益財団法人復光会垂水病院、⁴地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院、
⁵独立行政法人国立病院機構帯広病院、⁶埼玉県立精神医療センター、⁷認定NPO法人日本若手精神科医の会

2-FP30-3 **精神科病院職員の多職種連携準備性と心理的安全性**

○中村 泰久¹、吉川 真由美²、寺下 浩司³、福嶋 美貴⁴、坪之内 千鶴⁵
¹日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻、²日本福祉大学社会福祉学部、
³医療法人みどり風南知多病院看護部、⁴中部大学生命健康科学部保健看護学科、⁵日本福祉大学看護学部看護学科

2-FP30-4 **スポーツ精神科専門外来を受診したアスリートにおける臨床診断と特性の性差：後方視的観察研究**

○山口 達也^{1,2}、北原 亜加利^{3,4}、小松 孝行^{2,5}、長尾 雅史^{2,5}、高澤 祐治^{2,5}
¹国立スポーツ科学センター、²順天堂大学医学部スポーツ医学研究室、³筑波大学大学院総合人間科学部、
⁴獨協医科大学精神神経医学講座、⁵順天堂大学スポーツ健康科学部

2-FP30-5 **地域で精神保健の課題を有する人を支援する－フォーミュレーションとリスクマネジメントを中心に**

○竹島 正^{1,2}、辻本 哲士³、柴崎 聡子⁴、石井 美緒⁵、根本 隆洋⁶
¹大正大学地域構想研究所、²一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会、³滋賀県立精神保健福祉センター、
⁴川崎市総合リハビリテーションセンター推進センター、⁵公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科、
⁶東邦大学医学部医学科精神神経医学講座

2-FP30-6 **世界保健機関の枠組みを踏まえたフィリピン国地域精神保健推進への日本の協力支援の進展**

○関 英一^{1,2}、藤井 千代²、馬場 俊明^{2,3,4,5}、佐藤 さやか²、久永 文恵²、金 吉晴²
¹社会医療法人あさかホスピタル、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、³国立健康危機管理研究機構、
⁴久喜すずのき病院、⁵公益財団法人日本医療機能評価機構

16:20~17:10 **精神科専門医研修中の医師 10**

司会：齋藤 淳一 東邦大学医学部精神神経医学講座

2-RP10-1 **院内完結型AIモデルの導入と、業務変革への影響 ～多職種への受容性評価と、ボトムアップの意識変容～**

○高山 英也、宮西 知広、松田 文恵、谷口 園子、榎戸 美佐子、谷野 亮一郎
医療法人社団和敬会谷野呉山病院

2-RP10-2 **Becker型筋ジストロフィー併存のカタトニア症候群を呈した統合失調症に対して電気けいれん療法を行った一例**

○橋本 瞳¹、五十嵐 俊¹、滝澤 歩武²、宮崎 智之^{3,4}、長尾 賢太郎¹、熊谷 航一郎¹、林 大祐¹、
鬼頭 伸輔^{1,5}、野田 隆政¹
¹国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、²国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科、
³国立精神・神経医療研究センター病院麻酔科、⁴横浜市立大学研究・産学連携推進センター、
⁵東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-RP10-3 **カタトニアに対してベンゾジアゼピンの投与と修正型電気けいれん療法を施行した第一第二鯰弓症候群の一例**
○富岡 誠子、清水 直樹、新井 久稔、渡邊 さつき、松岡 孝裕、桑原 斉、松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

2-RP10-4 **電気けいれん療法後の重度頭痛に対する予防的アセトアミノフェン投与が著効し治療完遂が可能となった1例**
○川口 憲治、石井 一裕、鬼頭 伸輔
東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-RP10-5 **HTRA1関連脳小血管病による精神症状に対して修正型電気けいれん療法を施行した1例**
○上山 佑一郎¹、鈴木 耕一郎²、塩田 恭史¹、六車 隆太郎¹、中山 知彦¹、中瀧 理仁³、沼田 周助³
¹徳島大学病院精神科神経科、²香川県立丸亀病院、³徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部情報統合医学講座精神医学分野

17:20~18:40 **一般演題 31**
知的障害、発達障害2
司会：福屋 吉史 東邦大学医学部精神神経医学講座

2-FP31-1 **福祉サービスが利用できない強度行動障害の外来治療中に発達を認めた一例**
○伊藤 隆伸
嬉野温泉病院精神科

2-FP31-2 **児童思春期の注意欠如・多動症における自閉スペクトラム症併存の有無による前頭前野血液動態反応の比較**
○神川 浩平^{1,3}、山室 和彦^{1,2}、岡崎 康輔⁶、浦谷 光裕⁵、太田 豊作⁴、岡田 俊¹
¹奈良県立医科大学精神医学講座、²奈良県立医科大学健康管理センター、³奈良県総合医療センター精神科、⁴奈良県立医科大学人間発達学、⁵万葉クリニック子どものこころセンター絆、⁶ハートランドしぎさん こどものこころ診療センター

2-FP31-3 **カモフラージュ行動を示していた自閉スペクトラム症女子の、思春期における支援経過の一例**
○前田 佐知
三重県立子ども心身発達医療センター児童精神科

2-FP31-4 **発達性協調運動障害を伴う自閉スペクトラム症児2例におけるシーティング介入の効果の評価：探索的研究**
○池田 真希子¹、関戸 雄貴¹、梶原 厚子^{2,3}、辻 悦子^{2,3}、川島 瞳²、畔上 英子²
¹国立成育医療研究センターこころの診療科、²Tamaステーションなる訪問看護事業、³福祉用具等作製業者なるのおいす屋さん

2-FP31-5 **社会の変化と『発達障害』～逆境の小児期体験（Adverse Childhood Experiences）との関連で～**
○榎戸 美佐子¹、藤田 宗久¹、宮西 知広¹、高山 英也¹、大田垣 昂¹、島崎 正夫¹、北川 祐一¹、角谷 陽平²、谷野 亮一郎¹
¹医療法人社団和敬会谷野呉山病院、²医療法人社団和敬会谷野医院

2-FP31-6 **自閉スペクトラム症におけるAQ-JとADOS-2の乖離と性差**
○山室 和彦^{1,2}、柏田 夏子²、石田 理緒^{2,3,4}、竹田 奨^{2,3,4}、鳥塚 通弘^{2,3,4}、牧之段 学^{2,3,4}
¹奈良県立医科大学健康管理センター、²奈良県立医科大学精神医学講座、³藤田医科大学精神・神経病態解明センター変革融合精神医学部門、⁴熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野講座

2-FP31-7 **演題取り下げ**



2-FP31-8

Clinical and Sociodemographic Profile of Adults Evaluated for ADHD in a Tertiary Hospital

○Sydney M. Madlangsakay, Constantine L. Yu Chia

Department of Psychiatry and Behavioral Medicine, University of the Philippines Philippine General Hospital, Philippines

17:20~18:30

一般演題 32

アルコール・薬物依存、行動嗜癖

司会：住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター児童・予防精神医学研究部

2-FP32-1

機能的脳計測法を用いたeスポーツ遂行中のプレー時間の最適化に関する研究

○菊地 千一郎¹、小川 唯花²、馬場 千寿²、吉野 綾香²、豊島 綾理¹、西沢 祐亮¹、下田 佳央莉¹、土屋 謙仕³、平尾 一樹⁴

¹群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座、²群馬大学医学部保健学科、³長野保健医療大学保健科学部、⁴鹿児島大学医学部保健学科

2-FP32-2

栃木県立岡本台病院におけるギャンブル障害外来の実際

○竹内 祥貴、篠崎 将貴、天野 託、下田 和孝

栃木県立岡本台病院精神科

2-FP32-3

薬物問題で依存症専門外来を初診した患者における乱用物質の組み合わせ年代別の比較と行動化との関連

○板橋 登子、青山 久美、平野 祥子、小森 宏樹、小林 桜児

神奈川県立精神医療センター

2-FP32-4

習慣飲酒者に対する心理社会的介入の効果を予測する客観的指標の開発：事象関連電位P300に基づく検討

○住吉 太幹、山田 理沙

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

2-FP32-5

うつ症状が感情制御困難を介してスマートフォン依存傾向に及ぼす影響：DERSを用いた媒介分析

○稲熊 徳也^{1,2}、船渡川 智之²、寺島 凜太郎¹、関崎 亮³、水野 雅文⁴、根本 隆洋²

¹東京都立松沢病院精神科、²東邦大学医学部医学科精神神経医学講座、³桐生第一高校、⁴社会医療法人あさかホスピタル

2-FP32-6

飲酒量低減薬ナルメフェンによる臨床効果とアルコール依存症重症度の相関に関する研究

○加戸 穂波¹、宮田 久嗣^{1,2}、澤登 洋輔^{1,3}、加藤 英之¹、渡部 洋実¹、伊坂 洋子¹、平川 淳一¹

¹医療法人社団光生会平川病院、²東京慈恵会医科大学精神医学講座、³昭和医科大学医学部精神医学教室

2-FP32-7

Effects of Axonal Injury and Systemic Inflammation on Salience Network in Methamphetamine Users

○Shyh-yuh Wei¹、Yu-li Liu²、Tzu-yun Wang¹

¹Department of Psychiatry, National Cheng Kung University Hospital, College of Medicine, National Cheng Kung University, Taiwan、²Center for Neuropsychiatric Research, National Health Research Institutes, Taiwan

17:20~18:30 一般演題 33

社会精神医学(自殺予防、精神科救急)

司会：大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

2-FP33-1

和歌山県立医科大学附属病院に救急搬送された自殺企図に関する後方視的調査

○魚谷 和史¹、岡村 和哉¹、杉本 麻衣¹、北野 陽大^{1,3}、桐村 直樹¹、北内 京子¹、濱田 祥生^{1,4}、
松岡 佑弥¹、福瀧 カケイ¹、船井 翔平¹、上西 優介¹、中島 強²、米満 尚史²、井上 茂亮²、紀本 創兵¹

¹和歌山県立医科大学神経精神科、²和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座、³医療法人宮本病院、
⁴医療法人田村病院

2-FP33-2

千葉県における高校生対象のWEBストレスチェックと精神科医コンサルテーションについて

○池水 結輝^{1,2}、古川 美之^{1,3}、土屋 綾子^{1,3,4}、小林 海⁵、広瀬グレース 美幸^{1,3}、草野 優子^{1,3}、
池上 陽子^{1,3}、波平 百合香³、小柴 孝子¹、佐々木 剛^{6,7}、新津 富央^{7,8}、清水 栄司^{1,3,5}

¹千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、²千葉大学国際未来教育基幹、
³大阪大学大学院連合小児発達学研究所千葉校、⁴城西国際大学看護学部看護学科、
⁵千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、⁶千葉大学医学部附属病院こどものこころの診療部、
⁷千葉大学大学院医学研究院精神医学教室、⁸千葉大学医学部附属病院精神神経科

2-FP33-3

全国データベースによる国内の入院患者の自殺死亡の特徴：精神科と身体科の比較

○井上 佳祐^{1,2}、張 賢徳³、大塚 耕太郎⁴、大西 秀樹⁵、河西 千秋⁶

¹横浜市立大学大学院医学研究科精神医学教室、²医療法人社団正心会岡本病院、
³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、⁴岩手医科大学医学部神経精神科学講座、
⁵埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科、⁶札幌医科大学医学部精神医学講座

2-FP33-4

重症自殺企図後に救命センター入院となった小中高生の特徴とフォローについて

○吉塚 倂子、衛藤 暢明、吉村 裕太、石田 匡宏、岡本 雄太、増田 将人、堀 輝
福岡大学病院精神神経科

2-FP33-5

演題取り下げ

2-FP33-6

COVID-19後の精神科救急医療施設における感染対策加算の動向分析

○中西 健太¹、福井 英理子²、畠山 洋輔³、花岡 晋平^{3,4}

¹医療法人生会松蔭病院、²東邦大学医学部精神神経医学講座、³東邦大学医学部社会医学講座、
⁴千葉県総合救急災害医療センター精神科

2-FP33-7

Clinical Assessment To Predict Suicide Risk in Major Depression Patients using NSSI

○Callen Kozaru

University of California, Irvine, USA

17:20~18:20 精神科専門医研修中の医師 11

司会：長谷川 花 静岡赤十字病院精神神経科

2-RP11-1

炭酸リチウム投与に伴う腎機能低下リスクについての単施設後方視的研究

○中島 鑑、松岡 照之、山野 純弘

NHO舞鶴医療センター精神科

2-RP11-2

ICU患者におけるレンボレキサントと不穏の関係についての後方視的研究

○金山 征矢¹、西村 康平¹、大矢 雅樹²、宇田川 雅彦²

¹神奈川県立精神医療センター、²船橋市立医療センター



2-RP11-3

笠寺精治療病院における排便管理の実態調査と看護師の負担感調査

森 康浩¹、○間宮 隆久^{1,2}、古川 和香奈¹、濱田 裕之¹、岩田 邦幸^{1,2}

¹医療法人交正会笠寺精治療病院、²名古屋大学医学部附属病院精神科

2-RP11-4

精神科急性期病棟入院患者における糖尿病リスクについての検討

○平野 将弘¹、原 広一郎¹、目澤 守人¹、永嶋 朋久¹、塩江 遼太¹、北田 絵里¹、清水 健生¹、
福尾 ゆかり¹、飯塚 大祐¹、岩佐 博人^{1,2}、大内 基司^{1,3}、小澤 健¹、秀野 武彦¹、浅井 禎之¹

¹医療法人静和会浅井病院、²千葉県循環器病センターてんかんセンター、
³千葉大学大学院看護学研究院健康増進看護学講座

2-RP11-5

精神科病棟における行動制限とD-dimer上昇の関連性の検討

○李 智祥、石井 亮、矢崎 和太、中島 政美、関口 秀文

医療法人高柳会赤城病院

2-RP11-6

クロザピン再導入後に薬剤性間質性腎炎を発症した一例

○市川 貴彬、加茂 雅乃、森脇 久視

神奈川県立精神医療センター